

7. 水源地域動態

7.1 評価の進め方

7.1.1 評価方針

水源地域動態の評価は大きく2つの流れにより評価を行う。1つは、地域との関わりという点で、ダム建設から管理以降、現在までのダム事業を整理するとともに、地域情勢の変遷を整理し、地域においてダムがどのような役割を果たしてきたか、今後の位置づけはどのように考えていくべきかなどの評価を行う。

もう1つの流れとして、ダム周辺整備事業とダム及びダム周辺の利用状況から評価を行うものである。ダム周辺に整備された施設などが十分に利用されているものとなっているか、又は逆に利用状況から見た施設は十分なものとなっているかなどの評価を行う。

最後にこれらをまとめ、ダム及びダム周辺の社会的な評価の総括を行い、課題等について検討する。

7.1.2 評価手順

評価方針のとおり大きく2つの流れにより評価を行いとりまとめることとする。作業のフローは図に示すとおりである。

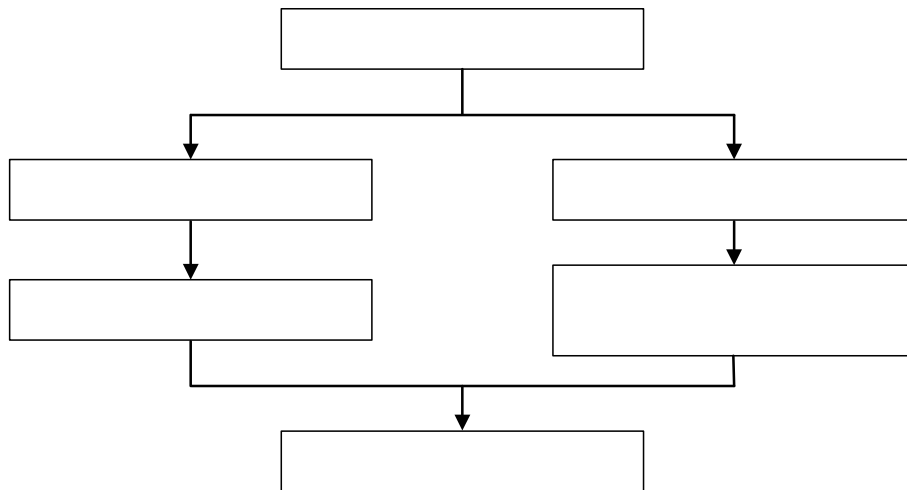


図 7.1.2-1 評価手順

(1) 水源地域の概況整理

水源地域の地勢や人口等の概要、交通条件や観光施設等のダムの立地特性等の視点から水源地域の概況を把握する。

(2) ダム事業と地域社会の変遷

周辺地域の社会情勢、地域の交流活動・イベント等についてダム事業の経緯とともに変遷を年表形式で整理し、ダム事業と地域社会の係わりを把握する。周辺地域の社会情勢、地域の交流活動・イベント等は、ダムの影響とまでは言えないまでも関連がありそうな事項を抽出する。これらのまとめにより、ダムを含めた水源地域としての地域特性を把握する。

(3) ダムと地域の関わり

ダムと地域との関わりとして、(2)をもとに、「地域に開かれたダム」や「水源地域ビジョン」等も参考にしながら、地域におけるダムの位置づけについて考察を行う。

さらにダム管理者と地域の関わりとして、至近 5 ヶ年程度のダム管理者と地域の交流事項等について整理し、管理者の活動等について評価する。

(4) ダム周辺の状況

ダムの周辺環境整備計画を整理するとともに、現況の整備状況等について整理を行い、加えて、「地域に開かれたダム」や「水源地域ビジョン」により新たに整備された施設等についても整理する。

なお、原則は、「水源地域対策特別措置法」で整備した施設等は評価対象としないが、ダム事業と一体となって整備した施設等は含めることとする。

また、施設入り込み数、イベント開催状況等から周辺の利用状況を整理し、利用に関する評価を行う。

(5) 河川水辺の国勢調査（ダム湖利用実態調査）結果

河川水辺の国勢調査（ダム湖利用実態調査）結果より、ダム周辺施設の年間利用者数、利用形態等についても整理する。

また、アンケート調査結果から、利用者がどのような感想をもっているかについても整理し、利用者の視点からのダム周辺施設（環境整備）の評価を行う。

(6) その他関連事項の整理

水源地域の社会動態に関する既往検討資料、または景観検討資料、施設の維持管理に関する検討資料等、関連する資料があれば整理する。

(7) まとめ

以上より、地域とダムの関わり、ダムの利用状況に関する評価結果をまとめ、ダムの特徴、課題等について整理する。また、負の評価結果となった事項があれば、これらについて要因を整理し、極力改善策等の提案についてとりまとめるものとする。

7.2 水源地域の概況

7.2.1 水源地域の概要

(1) 自然

布目ダムは、淀川総合開発計画の一環として、木津川支川布目川に建設された多目的ダムで、集水面積は75km²である。

布目ダム周辺一帯は、400m前後の山が連なる大和高原地帯である。この地域では、なだらかな山の斜面を利用して、お茶の栽培が盛んに行われている。

流域には、山林や水田、茶畑が広がり、複数のゴルフ場も営業しており、面積としては、山林、水田に次いで3番目の広さである。

(2) 布目ダム流域に含まれる市村

布目ダムの流域は、奈良県の奈良市、天理市、山添村、宇陀市の3市1村にまたがり、奈良市、天理市、山添村では、布目ダム流域が市村面積の約2割を占める。流域内では、約6割が奈良市域であり、山添村域、天理市域が各々約2割となっている。宇陀市域は1割に満たない(0.4%)。

表 7.2.1-1 布目ダム流域市町村の面積及び流域面積

	市町村 面積 (km ²)	布目ダム 流域面積 (km ²)	市町村に 占める流 域の割合 (%)
奈良市	276.84	44.47	16.06
山添村	66.56	13.27	19.94
天理市	86.37	16.97	19.65
宇陀市	247.62	0.29	0.12
合計	677.39	75.00	—

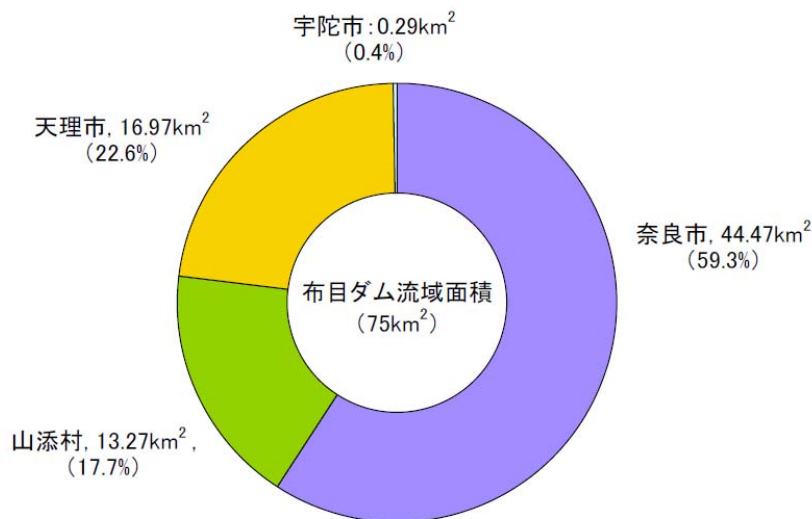


図 7.2.1-1 布目ダム流域市町村の面積及び流域面積

【出典：国土交通省国土地理院「平成23年全国都道府県市区町村別面積調」
布目ダム流域面積はプランイメータによる測定】

(3) 流域内の人口動態

布目ダム流域内における人口・世帯数推移を、表 7.2.1-2 及び図 7.2.1-2 に示す。流域内では奈良市の人口・世帯数が最も多く、流域の約 65%程度を占めている。次いで、天理市、山添村の順である。流域内人口で見ると、S55 をピークに S60 以降減少したが、H2 以降再び増加傾向を示した。しかし、H12 以降は減少傾向を示している。

表 7.2.1-2 布目ダム流域内人口・世帯数推移 (S50~H22)

布目ダム流域内人口 (単位：人)

市村名	昭和50年	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年
奈良市	5,209	5,648	5,445	5,544	6,021	5,907	5,630	5,263
山添村	1,019	1,001	938	845	818	720	700	637
天理市	905	1,998	1,841	1,851	1,787	1,674	1,560	1,435
合計	7,133	8,647	8,224	8,240	8,626	8,301	7,890	7,335

布目ダム流域内世帯数 (単位：世帯)

市村名	昭和50年	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年
奈良市	1,139	1,264	1,258	1,293	1,534	1,550	1,516	1,556
山添村	220	219	217	205	200	190	194	196
天理市	195	410	417	409	419	412	393	372
合計	1,554	1,893	1,892	1,907	2,153	2,152	2,103	2,124

【出典

- 各年の国勢調査結果（小地域集計結果）による。
- 布目ダム流域内の小地域（町丁・字）は以下のとおりとした。
 - 奈良市：丹生町、北野山町、柚ノ川町、都祁南之庄町、都祁甲岡町、来迎寺町、都祁友田町、蘭生町、都祁小山戸町、都祁相河町、都祁白石町、針町、針ヶ別所町、小倉町、上深川町、下深川町、萩町、都祁馬場町
 - 山添村：大字室津、大字松尾、大字的野、大字峰寺、大字桐山、大字北野
 - 天理市：福住町、山田町】

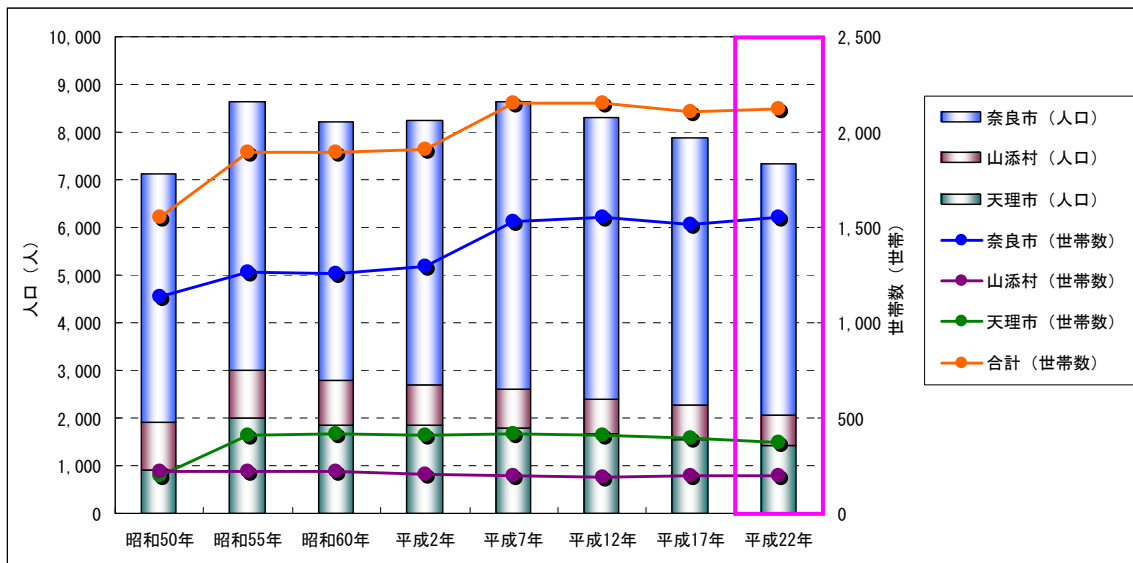


図 7.2.1-2 布目ダム流域内人口・世帯数推移 (S50~H22)

(4) 産業別就業者数

布目ダム流域内における就業者数推移を、表 7.2.1-3 及び図 7.2.1-3 に示す。全体としては、第2次・第3次産業に従事する就業者の割合が多いが、山添村は茶業を主体とした農業地域であり、第1次産業就業者が多くなっている。

表 7.2.1-3 布目ダム流域内における就業者数推移(H12~H22)

(単位：人)

		平成12年	平成17年	平成22年
奈良市	第1次産業	406	386	492
	第2次産業	996	939	882
	第3次産業	1,488	1,477	1,711
	その他(分類不能)	35	13	237
山添村	第1次産業	89	105	141
	第2次産業	40	63	57
	第3次産業	208	210	190
	その他(分類不能)	14	1	6
天理市	第1次産業	148	157	213
	第2次産業	207	161	130
	第3次産業	451	384	349
	その他(分類不能)	3	1	25
合計	第1次産業	643	648	846
	第2次産業	1,243	1,163	1,069
	第3次産業	2,147	2,071	2,250
	その他(分類不能)	52	15	268

- 注) 1. 各年の国勢調査結果(小地域集計結果)による。
 2. H7以前については小地域(町丁・字)での集計結果は公表されていない。
 3. 布目ダム流域内の小地域(町丁・字)は以下のとおりとした。
 ・奈良市：丹生町、北野山町、柚ノ川町、都祁南之庄町、都祁甲岡町、来迎寺町、都祁友田町、藪生町、都祁小山戸町、都祁相河町、都祁白石町、針町、針ヶ別所町、小倉町、上深川町、下深川町、荻町、都祁馬場町
 ・山添村：大字室津、大字松尾、大字的野、大字峰寺、大字桐山、大字北野
 ・天理市：福住町、山田町

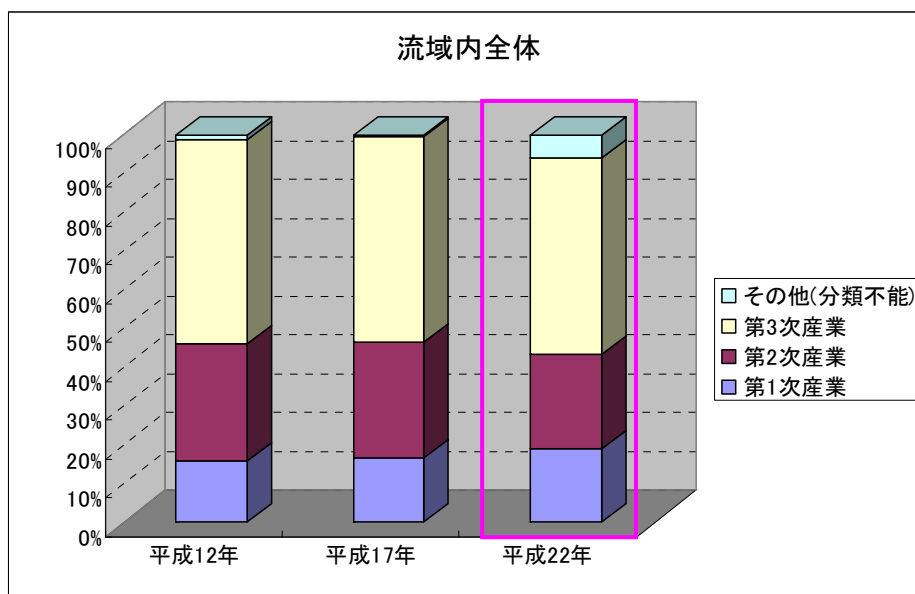


図 7.2.1-3 布目ダム流域内における就業者数推移 (H12~H22・流域全体)

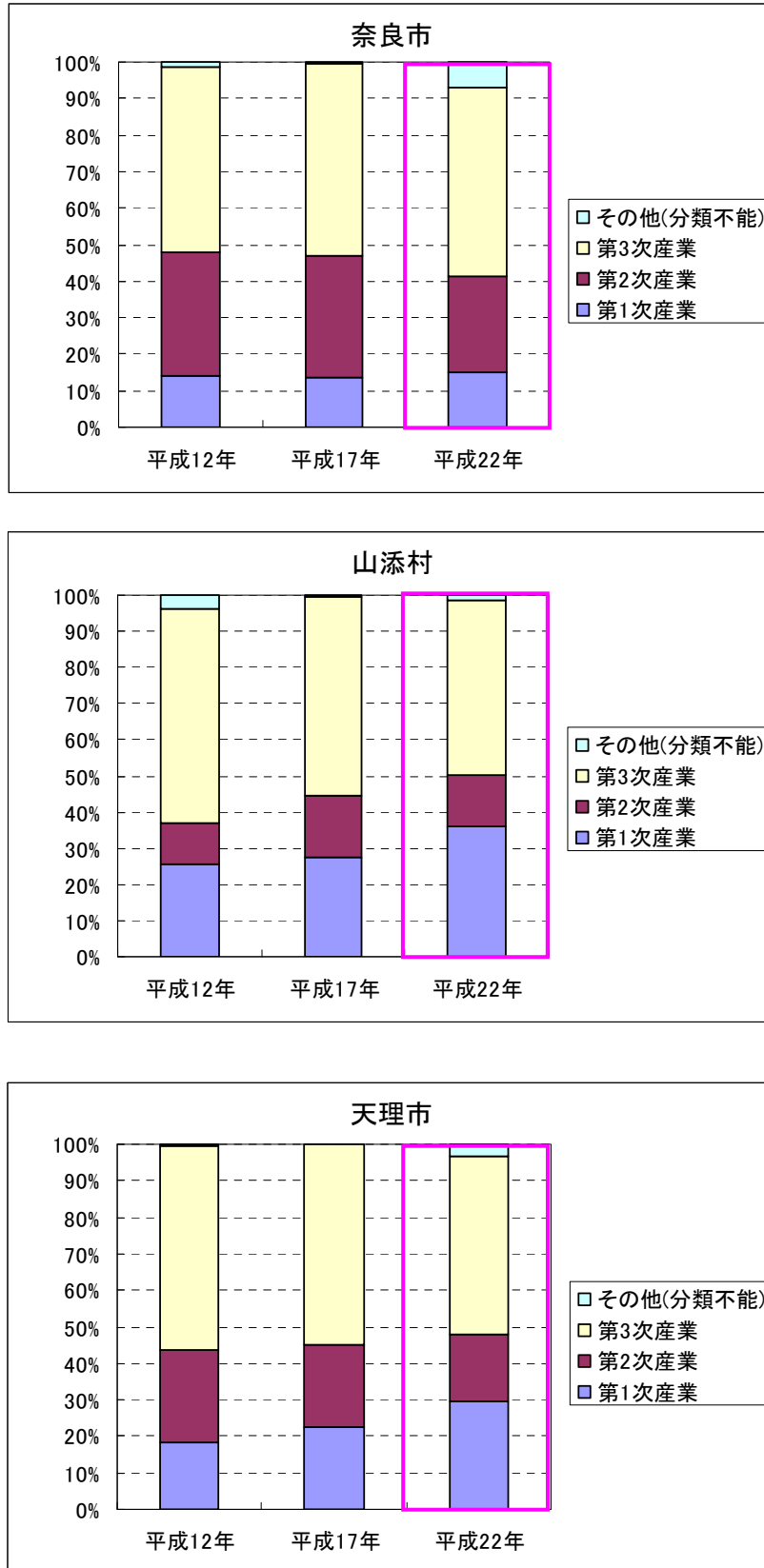
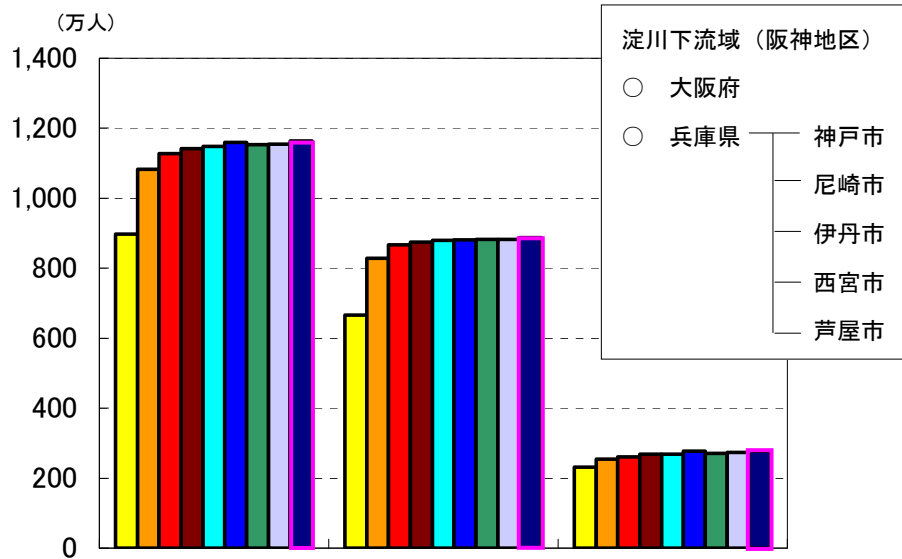


図 7.2.1-4 布目ダム流域内における就業者数推移 (H12~H22・市村別)

(5) 淀川下流域の人口の推移

淀川流域の人口は、図 7.2.1-5 に示すとおり、昭和 40 年から 50 年までの 10 年間で約 185 万人の増加があり、平成 2 年以降はほぼ横ばいの状態となっている。



(単位: 万人)

	阪神地区	大阪府	他5市
■ S40	898	666	232
■ S50	1,083	828	255
■ S60	1,128	867	261
■ H2	1,142	874	268
■ H7	1,148	880	268
■ H12	1,159	881	278
■ H14	1,153	882	271
■ H17	1,155	882	273
■ H22	1,164	887	277
増減率	129.6%	133.2%	119.4%

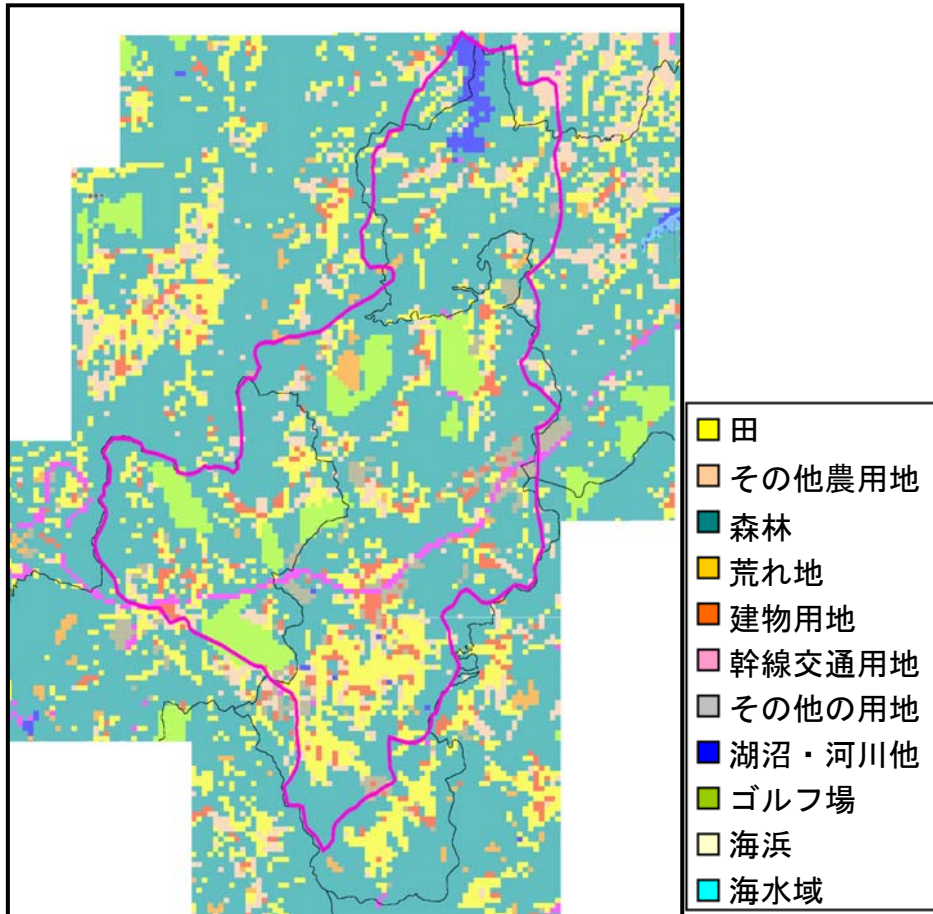
【出典：国勢調査

※増減率は、昭和 40 年に対する平成 22 年の変動率を示す】。

図 7.2.1-5 淀川下流域の人口の推移

(6) 土地利用と産業

布目ダム流域内における土地利用状況を、図 7.2.1-6 に示す。流域内の土地の利用割合は、森林が 60%、田 16%、その他農用地 6%、ゴルフ場 7%、建物用地 4%となっており、市街地等の開発は進んでいないが、流域上流部の名阪国道沿いでは、住宅・ゴルフ場も点在する。



【出典：国土交通省 国土政策局 国土数値情報 土地利用細分メッシュデータ
平成 21 年度 土地利用 100mメッシュデータ】

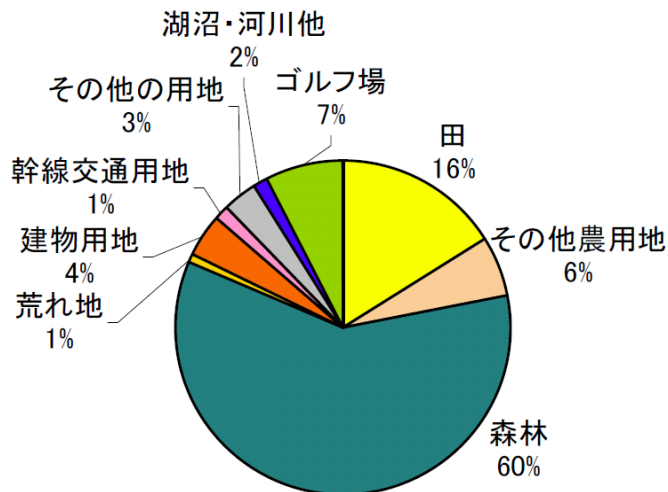


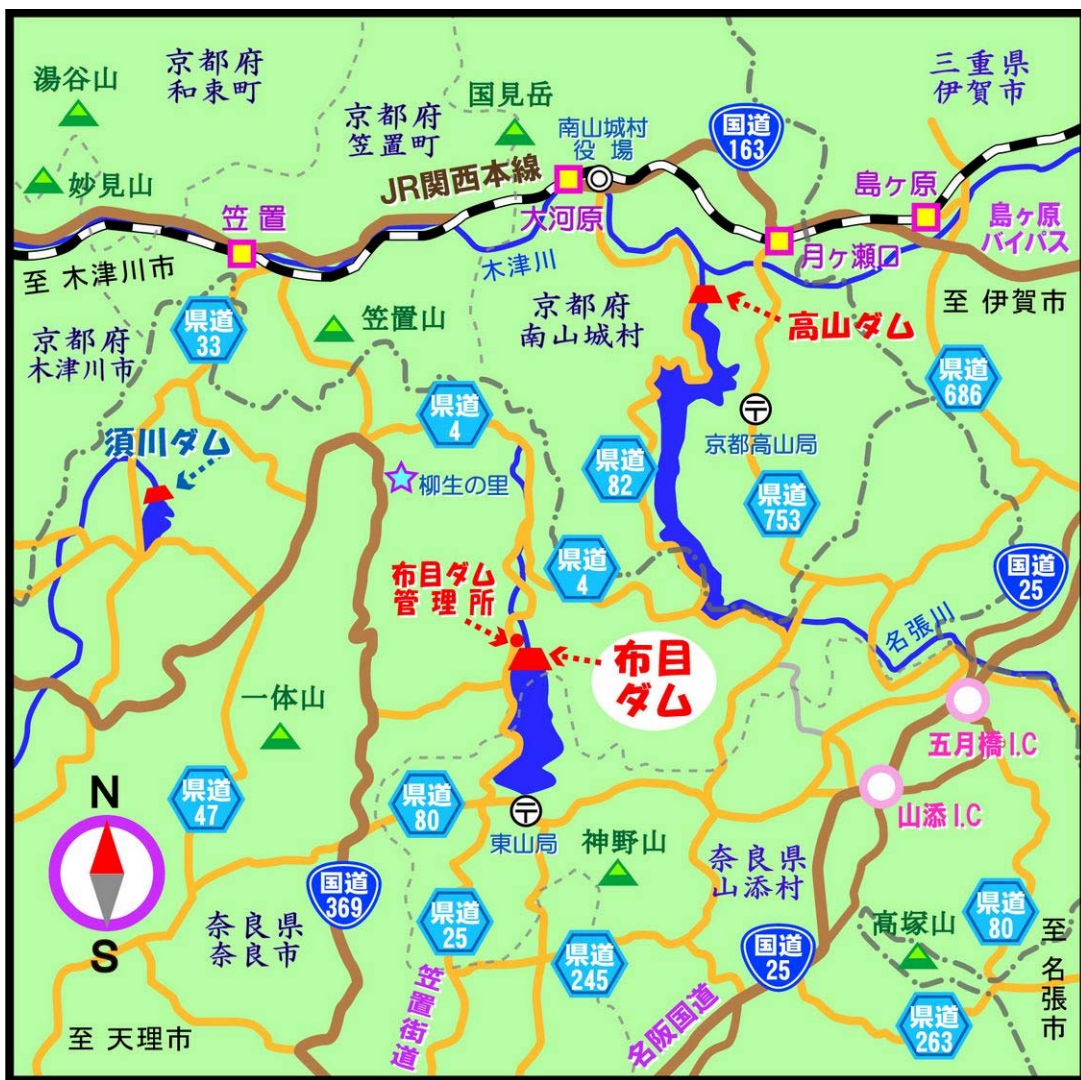
図 7.2.1-6 布目ダム流域内における土地利用

7.2.2 ダムの立地特性

(1) ダムへのアクセス

布目ダムの南側約 10km には、広域幹線である名阪国道及び国道 25 号が東西方向に通っており、大阪都市圏及び名古屋都市圏からはそれぞれ約 1 時間半で到達することができる。また布目ダムの下流約 7km には木津川に沿って、大阪市と三重県津市を結ぶ国道 163 号が東西方向に位置し、京都府笠置町と山添村を結ぶ県道笠置山添線と交差する。

ダム貯水池の左岸には県道月瀬針線、右岸は村道津越牛ヶ峰線が位置しており、貯水池を周遊することができる。ダム湖最上流部には、県道奈良名張線が東西に通っており、東側で名阪国道及び国道 25 号と交差する。



【出典：布目ダム HP】

図 7.2.2-1 周辺都市からの交通網

(2) ダム周辺の観光施設等

布目ダム周辺の観光施設等を図 7.2.2-2 に示す。

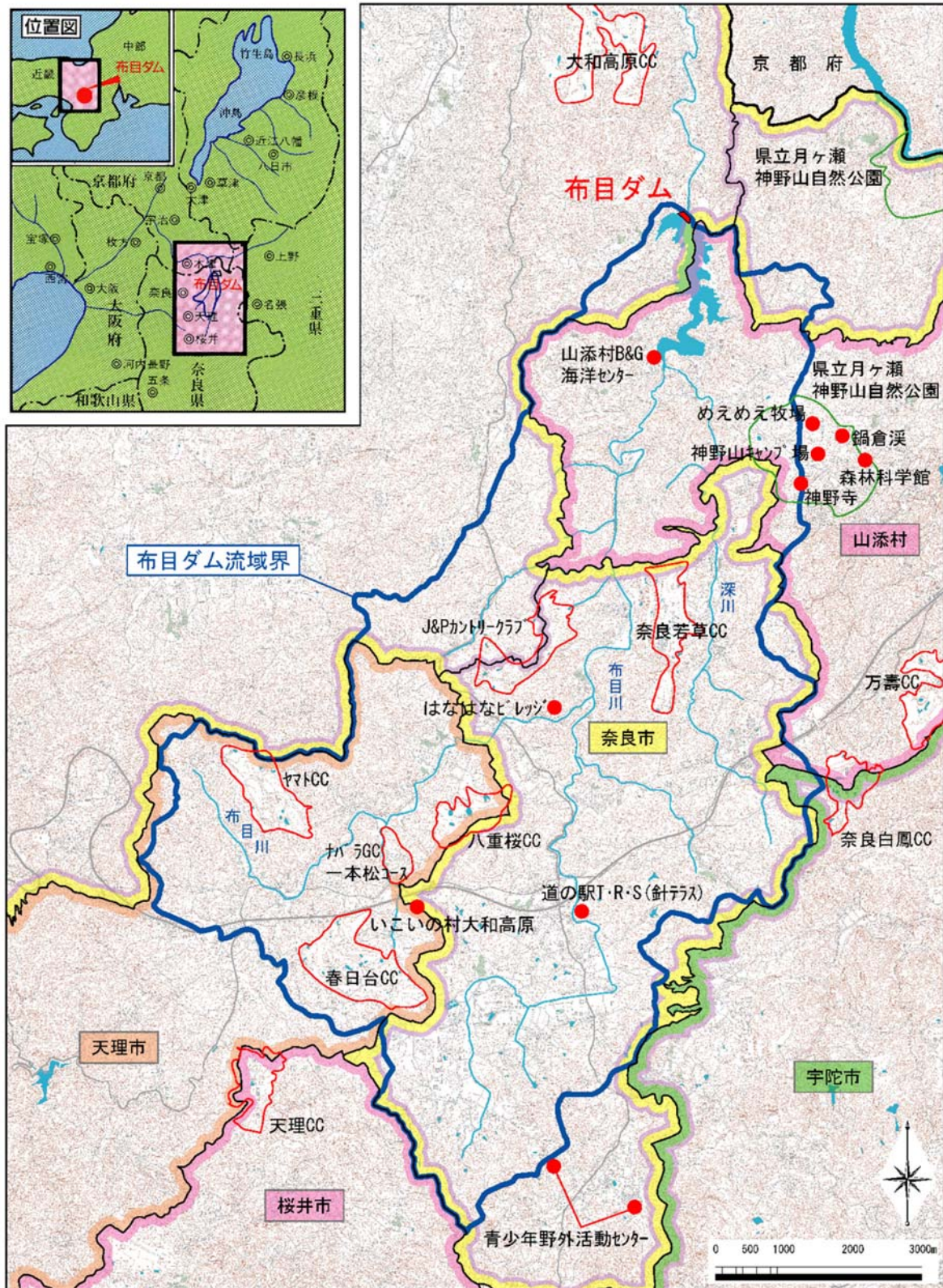


図 7.2.2-2 布目ダム流域及び周辺の主な観光施設等位置図

表 7.2.2-1 布目ダム周辺の観光施設

種別	施設名称等	概要	備考
公園	県立月ヶ瀬神野山自然公園	昭和50年7月に奈良県立自然公園として指定。大和高原の東北部に位置し、月ヶ瀬は梅の名所として、神野山は大和高原の代表的な山として、またツツジの名所として親しまれている。布目ダム流域内に位置する神野山は、標高618.8mであり、北東山腹に「鍋倉溪」(県天然記念物)、南西山腹に「神野寺」、北山腹に「めえめえ牧場」が立地し、その他「森林科学館」やキャンプ施設が分布している。	
キャンプ場	青少年野外活動センター	学校や各種青少年団体の自然体験・野外教育活動の場として設立。家族単位でのキャンプ生活の場としても開放されている。	
	いこいの村大和高原	宿泊施設、テニスコート、多目的広場、ローラースケート場等が整備されている。	
	はなはなビレッジ	森林浴、釣り、体験農園、ログハウスでのキャンプ等が楽しめる。	
ゴルフ場	奈良白鳳カントリークラブ	開場日：1976. 6. 10 面積：約1,089,000m ²	ダム流域外
	万壽ゴルフクラブ	開場日：1987. 9. 15 面積：約1,160,000m ²	ダム流域外
	奈良若草カントリー倶楽部	開場日：1990. 11. 13 面積：約1,570,000m ²	
	奈良O.G.Mゴルフクラブ	開場日：1974. 10. 29 面積：約1,650,000m ²	
	大和高原カントリークラブ	開場日：2001. 9. 1 面積：約2,180,000m ²	ダム流域外
	ヤマトカントリークラブ	開場日：1975. 8. 1 面積：約1,450,000m ²	
	ナバラGC一本松コース	開場日：1998. 4. 18 面積：約 405,000m ²	
	春日台カントリークラブ	開場日：1961. 11. 3 面積：約1,650,000m ²	
	天理ゴルフ倶楽部	開場日：1968. 4. 18 面積：約1,155,000m ²	ダム流域外
	八重桜カントリークラブ	開場日：1976. 4. 25 面積：約1,000,000m ²	
その他	道の駅 T・R・S(針テラス)	名阪国道と国道369号が交差する針I.Cに位置する。道の駅としては、日本初のPFI事業により完成。飲食、温泉、生鮮品・加工品の販売、観光イチゴ園、ショッピング街等があり、観光、道路状況等の各種情報をリアルタイムに提供している。	
	山添村B&G海洋センター	ヨットやカヌー等の海洋性スポーツ・レクリエーション活動を行うことができる施設。	
	花香房	山添村の物産品販売やイベントを実施	
	アドベンチャーフォレスト	大人も楽しめる本格的なフィールドアスレチック	

【出典

奈良県農林部森林保全課 HP http://www.pref.nara.jp/dd_aspx_menuid-3012.htm
山添村 <http://www.vill.yamazoe.nara.jp/>
奈良商工会館連合会 HP <http://www.shokoren-nara.or.jp/>
イーゴルフ株式会社 HP <https://www.e-golf.co.jp/>
道の駅針テラス HP <http://hari-trs.com/>】

(3) 文化財等

布目ダム周辺には、国指定を受けている名勝月ヶ瀬梅林(旧月ヶ瀬村)をはじめ、国指定(重文)天神社本殿(山添村)や、県指定の石打城址(旧月ヶ瀬村)等、多くの文化財がある。表 7.2.2-2 に布目ダム流域内における文化財を示す。

表 7.2.2-2 布目ダム流域内文化財一覧

市町村名	指定	指定種別	名 称
山添村	国	建造物	天神社本殿
		彫刻	銅造菩薩半跏像(伝如意輪観音像)
	県	彫刻	能面
		無形民俗文化財	東山の神事芸能
		名勝・天然記念物	神野山
		天然記念物	神野寺境内の二次林
奈良市	国	建造物	丹生神社本殿
		建造物	都祁水分神社本殿
		建造物	来迎寺宝塔
		彫刻	木造善導大師坐像
		彫刻	木造菩薩立像(伝聖観音像)
		無形民俗文化財	題目立
		史跡	小治田安萬呂墓
	県	彫刻	能面(丹生神社)
		彫刻	木造阿弥陀如来坐像
		有形民俗文化財	丹生神社題目立詞章残闕(「巖島」)
		絵画	絹本著色法華曼荼羅図
		工芸品	金銅装神輿(都祁水分神社)
		考古資料	古鏡
		史跡	三陵墓古墳群

7.3 ダム事業と地域社会情勢の変遷

布目ダム事業に関わる地域社会の情勢と変化を表7.3-1にて整理する。

表 7.3-1 ダム事業と地域社会の変化(年表) (1/2)

年代	布目ダム事業と インフラ整備事業	地域社会の変化(新規産業活動、住民活動、交流活動)		
		奈良市(奈良市地域)	奈良市(旧都祁村地域)	山添村
M22				
M31		奈良市誕生		
S9		室戸台風		
S30			都祁村誕生	
S31				山添村誕生
S34		阪奈道路が開通	新庁舎落成	
		伊勢湾台風		
S36				役場庁舎完成
		第2室戸台風		
S37	淀川水系が水資源開発水系に指定			
S38				山添分校校舎完成
S40		名阪国道開通		
		台風24号		
S41				
S43				
S44		市の人口20万人を突破		
S46	淀川水系工事実施基本計画改訂			山辺広域市町村圏指定
S47				山辺広域圏事業による ゴミ収集開始
S48				
S49				山辺広域消防組合山 添署業務開始
S50		市の人口25万人を突破		
S51	水資源開発基本計画の決定			
S54	事業実施方針の指示 布目ダム建設所開設			自然休養村管理センター完成
S55	事業実施計画の認可			
S56		市の人口30万人を突破		
S57				山添村ふるさとセンター
		台風10号		
S58	付替道路着手 (月ヶ瀬～針線その2) 柳生地区補償基準請妥結 山添地区補償基準請妥結			総合スポーツセンター完成
S59		水道局庁舎完成		
S60				基幹集落センター完成
S61	ダム本体工事に着手			
S62	コンクリート打設開始			山添中学校開校 山添ふれあいまつり
S63				し尿処理センター稼動
H1	本体コンクリート打設完了			
H2	試験湛水開始			
H3	試験湛水終了 布目ダム竣功式	市の人口35万人を突破		山添ふれあいまつり 第1回やまぞえ布目ダム マラソン大会開催

- 市町村誕生、合併等
- 災害
- イベント、住民活動、交流活動
- 交流施設、地域振興拠点等の開設

表 7.3-1 ダム事業と地域社会の変化(年表) (2/2)

年代	布目ダム事業と インフラ整備事業	地域社会の変化(新規産業活動、住民活動、交流活動)		
		奈良市(奈良市地域)	奈良市(旧都祁村地域)	山添村
H4	布目ダム管理業務開始		第1回「つげ祭り」開催	山添ふれあいまつり やまぞえ布目ダムマラソン大会
H5				歴史・民俗資料館開館 山添ふれあいまつり やまぞえ布目ダムマラソン大会
H7				山添ふれあいまつり やまぞえ布目ダムマラソン大会
阪神・淡路大震災				
H8				「茶の里映山紅」 山添ふれあいまつり やまぞえ布目ダムマラソン大会
H9		第二阪奈道路開通		山添ふれあいまつり やまぞえ布目ダムマラソン大会
H10				山添ふれあいまつり やまぞえ布目ダムマラソン大会
台風7号直撃				
H11	比奈知ダム管理開始			
H13				山添ふれあいまつり やまぞえ布目ダムマラソン大会
H14				やまぞえ小学校開校 山添ふれあいまつり やまぞえ布目ダムマラソン大会
H15		東部地域等水道整備事業竣工		山添ふれあいまつり やまぞえ布目ダムマラソン大会
H16			針テラス開設	山添ふれあいまつり
奈良市・月ヶ瀬村・都祁村 合併協定調印式				
H17		奈良市・月ヶ瀬村・都祁村 合併(合併記念式典開催)		山添ふれあいまつり やまぞえ布目ダムマラソン大会 布目湖釣り大会 布目ダム周辺クリーンキャンペーン
平成遷都1300年記念事業実施計画策定				
H18			近鉄けいはんな線開通	山添ふれあいまつり やまぞえ布目ダムマラソン大会 布目湖釣り大会 布目ダム周辺クリーンキャンペーン
H19				山添ふれあいまつり やまぞえ布目ダムマラソン大会 布目湖釣り大会 布目ダム周辺クリーンキャンペーン
H20		「グリーンサポート制度」開始		山添ふれあいまつり やまぞえ布目ダムマラソン大会 布目湖釣り大会 布目ダム周辺クリーンキャンペーン
なら100年会館開館10周年記念事業				
H21				山添ふれあいまつり やまぞえ布目ダムマラソン大会 布目湖釣り大会 布目ダム周辺クリーンキャンペーン
台風18号 流域平均時間雨量33mmを記録				
平成遷都1300年記念事業				
H22			第1回奈良マラソン 全国釣り大会奈良大会	山添ふれあいまつり やまぞえ布目ダムマラソン大会 布目湖釣り大会(全国釣り大会) 布目ダム周辺クリーンキャンペーン
第2回奈良マラソン				
H23				山添ふれあいまつり やまぞえ布目ダムマラソン大会 布目湖釣り大会 布目ダム周辺クリーンキャンペーン
台風12号 総雨量276mm(管理開始以降の最高記録)				

	市町村誕生、合併等
	災害
	イベント、住民活動、交流活動
	交流施設、地域振興拠点等の開設

【出典:布目ダム工事誌、奈良市HP、都祁村勢要覧 P11、山添村村勢要覧 P28、布目ダム定期報告書】

7.4 ダムと地域の関わり

7.4.1 地域におけるダムの位置づけに関する整理

布目ダムは布目川・木津川・淀川の「洪水調節」、奈良盆地一帯を潤す「水道用水」、および「流水の正常な機能の維持」の3つの目的をもつ多目的ダムである。

一方、近年においてはこのような従来の目的に加え、ダムを活かした水源地域の自立的・持続的な活性化を図り、流域内の連携と交流によるバランスのとれた流域圏の発展を図ることが求められている。

このため、国土交通省では直轄ダム、水資源開発公団（現水資源機構）ダムを対象に、地域ごとにダム水源地の自治体等と共同し、ダムを活かした水源地域の自立的、持続的な活性化を図るための「水源地域ビジョン」を策定することとし、布目ダムでは地元住民や関係機関等が共同して「布目ダム水源地域ビジョン」を検討、平成14年3月に策定した。

「布目ダム水源地域ビジョン」は、

“ダムを活かした水源地域の自立的、持続的な活性化のための行動計画”

として、ダム水源地域の活性化に向けた基本方針を定め、基本方針の実現のための具体的な方策を、ソフト対策に重点を置いて検討、策定したものである。

なお、対象範囲は、図7.4.1-1に示す、布目ダムとの係わりが強い地域とした。

○山添村の全域 ○都祁村（現奈良市）の全域 ○奈良市域の布目川流域

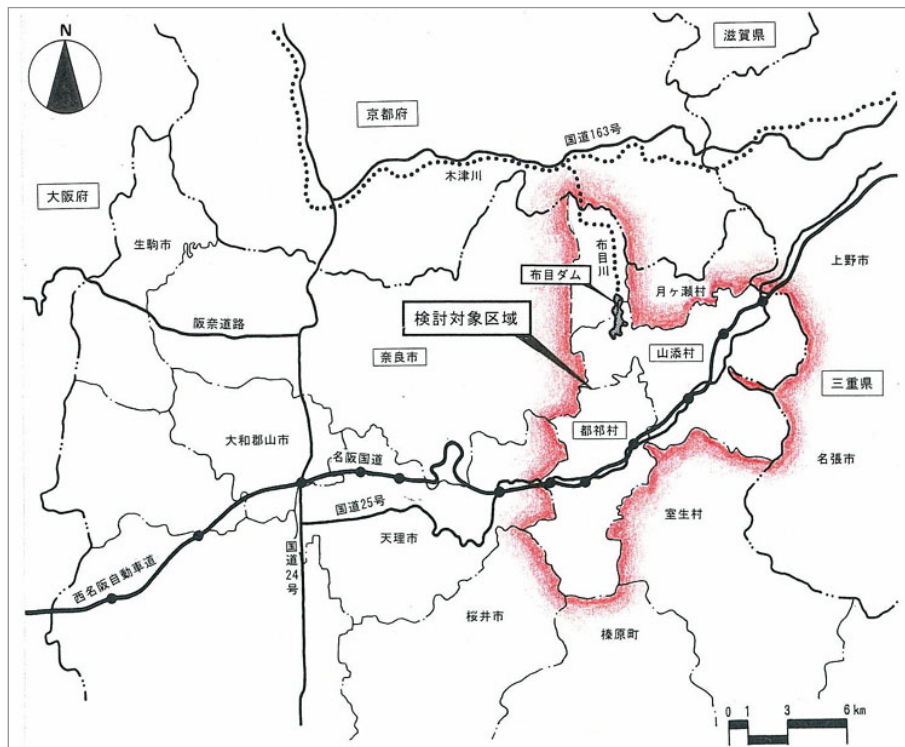


図 7.4.1-1 布目ダム水源地域ビジョンの対象範囲

【出典：布目ダム水源地域ビジョン、平成14年3月】

(1) 布目ダム流域全体の目標像

① 活性化に向けた地域全体の目標像

多彩なネットワークで結ばれる魅力豊かな地域資源を拠点に、
地域住民が生き生きと活動する水源地域の形成

- ・ 魅力度の高い様々な地域資源が立地する水源地域
- ・ 多彩な地域ネットワークが形成される水源地域
- ・ 水を軸に地域住民の積極的な活動が行われる水源地域

布目ダム水源地域ビジョンでは、地域活性化に向けた基本的な考え方や基本方針から布目ダム水源地域全体の目標像の実現に向けて布目ダムが担うべき役割を検討整理し、以下の4点に集約し、布目ダム及びダム湖を活用した地域活性化方策である水源地域ビジョンのキャッチフレーズと内容を策定した。

② 布目ダムの位置づけや担うべき役割

・ 湖面を活用した地域のレクリエーション空間

布目ダムが有する湖面利用に適した水面や、質の高い既存施設等を積極的に活用し、地域における湖面利用が図れる快適なレクリエーション空間としての役割を担うことが求められる。

・ 水資源に関する学習の場

地域の水がめとしての役割をもつ布目ダムは、水資源に関する学習の場に適しており、ダム堤体や貯水池周辺のダム管理施設等を活用することで水資源に関する学習拠点としての高いポテンシャルを有している。

・ 地域活動の場

現在の布目ダム周辺では、様々なイベントや地元住民による活動等が行われている。今後はそれらの活動や取り組みを継続し、さらに活性化させる地域活動の場としての役割を担うことが求められている。

・ 清らかな水質を有する水源地

広い範囲に上水道用水を供給する布目ダムにおいては、将来にわたってその機能を保持するために、また、上記の機能を高めるために、清らかな水質の保全や改善を行う場としての役割を担うことが求められる。



図 7.4.1-2 布目ダム水源地域ビジョンのキャッチフレーズと内容

7.5 地域とダム管理者の関わり

7.5.1 布目ダム水源地域ビジョン

布目ダム水源地域ビジョンの検討・策定は、以下に示す関係諸機関によって構成される「布目ダム水源地域ビジョン策定会議」によって行われた。なお、同組織は緩やかな組織として規約を設けずにビジョンの検討、策定にあたった。

- ・学識経験者・・・・・・・・・・京都大学教授
- ・周辺住民・・・・・・・・・・布目ダム周辺地域開発協会
- ・水源地域及び下流自治体・・・山添村、都祁村（現奈良市）、奈良市
- ・ダム管理者・・・・・・・・・・水資源開発公団（現水資源機構）
- ・関係行政機関・・・・・・・・・・国土交通省近畿地方整備局、奈良県

また、具体的な検討作業は、下部組織である「布目ダム水源地域ビジョン策定連絡会」において行った。布目ダム水源地域ビジョンの検討・策定は、表 7.5.1-1 に示すように連絡会3回（平成13年10月17日、12月26日、平成14年1月31日）、策定会議1回（平成14年3月5日）を開催し、各々の審議・検討項目に沿って検討を進め、平成14年3月5日の策定会議において「布目ダム水源地域ビジョン」を策定した。

このとき策定された「布目ダム水源地域ビジョン」の概要を図 7.5.1-1 に示す。

平成14年7月の布目ダム水源地域ビジョン実行連絡会開催から、平成23年7月まで計11回の実行連絡会が開催された。

この間、平成17年度開催時に、都祁村と奈良市の合併により構成機関としては、1機関の減となっているが、奈良市・都祁行政センターという形で実行連絡会には参加している。

また、平成22年の実行連絡会において、奈良県サイクリング協会、ツアー・オブ・ジャパン組織委員会奈良ステージ実行委員会の新規加入が承認され、新たな広がりを見せている。

平成23年度時点の構成機関を表 7.5.1-2 に示す。

表 7.5.1-1 布目ダム水源地域ビジョン策定経緯

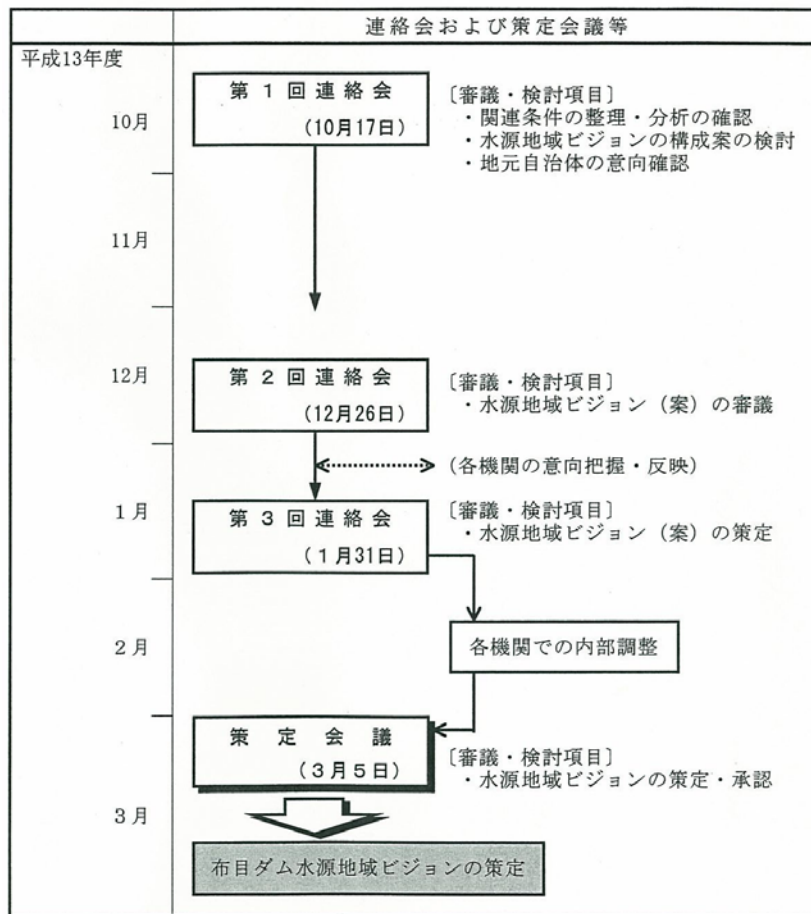


表 7.5.1-2 布目ダム水源地域ビジョン構成機関（平成23年度時点）

構成機関	担当部課等	備考
布目ダム周辺地域開発協会	理事長他	
山添村	地域振興課	
奈良市	総合政策部政策総合政策課 都祁行政センター業務課	
77-オブ・ジ・ジャパン組織実行委員会	奈良ステージ実行委員会事務局	H22年加入
奈良県サイクリング協会	理事長他	H22年加入
独立行政法人水資源機構	関西支社総務部利水者サービス課 木津川ダム総合管理所 布目ダム管理所	
国土交通省近畿地方整備局	木津川上流河川事務所調査課 淀川ダム統合管理事務所	オブザーバー
奈良県	地域振興部地域政策課水資源係	オブザーバー

《布目ダム水源地域ビジョン》

布目ダム水源地域ビジョンのまとめ

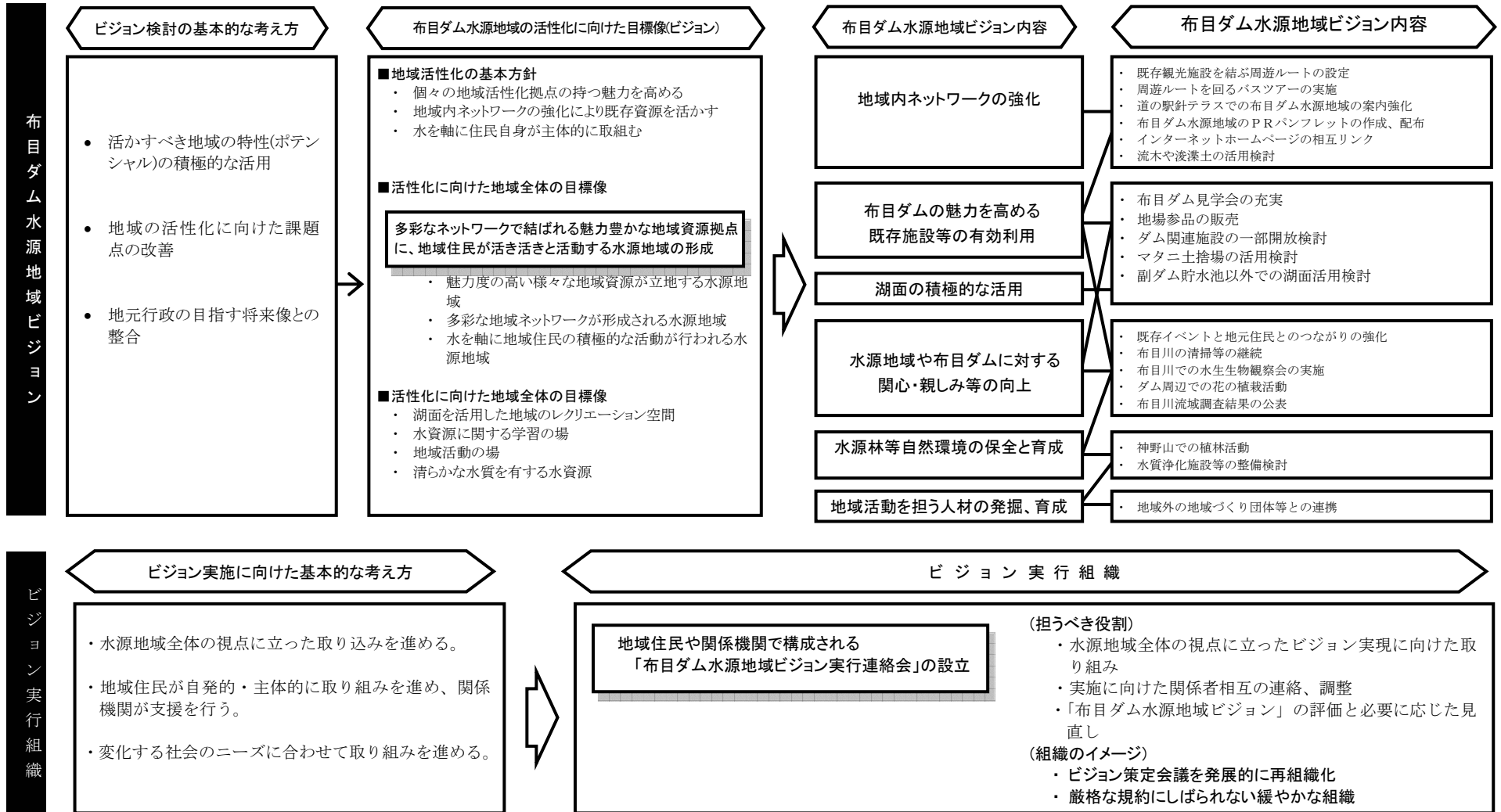


図 7.5.1-1 布目ダム水源地域ビジョンの概要

7.5.2 水源地域ビジョンの活動状況

(1) 実行連絡会の実施状況

表 7.5.2-1 に直近、5年の布目ダム水源地域ビジョン実行連絡会の実施状況を示す。

表 7.5.2-1 実行連絡会の実施状況

年度	月日	内 容
平成19年度	7月31日	各団体の平成18年度実行計画項目の活動報告及び平成19年度実行計画項目の策定について意見交換等が行われた。
平成20年度	7月31日	各団体の平成19年度実行計画項目の活動報告及び平成20年度実行計画項目の策定について意見交換等が行われた。
平成21年度	7月31日	各団体の平成20年度実行計画項目の活動報告及び平成21年度実行計画項目の策定について意見交換等が行われた。
平成22年度	7月30日	各団体の平成21年度実行計画項目の活動報告及び平成22年度実行計画項目の策定について意見交換等が行われた。
平成23年度	7月29日	各団体の平成22年度実行計画項目の活動報告及び平成23年度実行計画項目の策定について意見交換等が行われた。

7.5.3 水源地域の活動・啓発活動

水源地域では、漁漁組合、奈良市公民館を中心に地域活性化等の取り組みが行われている。また、ダム周辺では様々な団体により環境美化や環境教育が実施されている。

(1) 布目ダム水源地域で実施されている主な地域の活動

布目ダム水源地域の活動

田原地区

TAWARAキッズ



学校週五日制及び夏休み中の青少年教育講座として、異年齢での体験学習や共同作業に参加する中で仲間意識や個人の表現力が育つよう開催されました。

野菜スイーツはいかが



野菜を使った体に優しい野菜スイーツ作りを通して、食材を見直し、野菜の持つ効能を学んでもらおうと開催されました。地元の野菜と米粉を使い、地元の先生に教えていただきました。

田原まち作り講座



誰もが住みたくなる、住んで良かった地域づくりをめざして、6年目の継続講座として開催されました。毎年地区で開催される盆踊りを盛り上げるべく、盆燈会に並べる行灯を制作し、新しい盆燈会に挑戦しました。

女のさんぽ



まさに散歩のように、気楽に心豊かで魅力ある女性をめざし、一歩・二歩より少し先を見て、さまざまな学習に取り組み、学習意欲の啓発と地域での仲間づくりを目標に、毎年「女のさんぽ」講座が開催されています。今年は無添加の味噌作りを通して食の安全について考え、昔ながらの製法を次世代に伝承しようと、「猪づくりからの味噌作り講座」が開催されました。

匠に挑戦！—手もみ茶—



大和茶の振興及び緑茶文化の知識向上を図ることを目的とし、大和茶の産地を活かし、お茶の機械製法と同じ工程を手もみの製法で体験しました。

布目ダム水源地域の活動

興東地区

なかよしクラブ

奈良市では、子育て親子が気軽にふらっと訪れることができる地域の子育て支援の拠点として「奈良市子育てスポット事業」を開設しています。「なかよしクラブ」は、その1つです。親子が一緒におもちゃや絵本で自由に遊び楽しい時間を過ごすなかで子育ての悩みを相談したり、情報交換のできるスペースを提供しております。



歴史講座

奈良は長い時の変遷を経て今や忘れ去られているところや、まだまだあまり知られていないところも多い。歴史講座では、こうしたところにスポットをあて、今まで気づかなかった奈良の歴史の深さを学びます。



チャレンジクラブ

平成23年度、大柳生小学校と相和小学校が合併し、興東小学校となりました。興東公民館では、その興東小学校の児童を対象に、「チャレンジクラブ」を開催しています。チャレンジクラブでは、自然体験・創作活動を通して生活経験を豊かにするため、児童たちが仲間づくりを通していろいろな事にチャレンジしています



布目ダム水源地域の活動

柳生地区

あゆつかみに挑戦！

布目川でのアユつかみを体験水生生物や自然観察も！柳生の子供たちと他の地域の子供たちと交流を深めます。柳生の良さ、自然の大切さなどを学びます。



介護のための豆知識

高齢化社会が進み、高齢者が、高齢者を介護していかなければならない時代を迎え、少しでも知っていれば介護する方もされる方も楽に対応できる、そんな介護のコツと基礎的知識を学びました。また、介護福祉施設を訪れ体験学習によってより深く介護について学びました。



グラスアートでお部屋に彩りを！

グラスアートは、スタンドグラスの雰囲気そのままに、簡単に短時間で安全に作品が作れる新しいクラフトです。そんな新しいクラフトを、少しでも多くの方に知ってもらうことを目的に開催されました。



布目ダム水源地域の活動

都祁地区

夏休み！こども工作体験

夏休みの一、子ども達にももの作りの喜びや楽しさを体験し、想像力やものを大切にすることを育んでもらおうと開催されました。思い思いに万華鏡でのぞいてみたいものを持ち寄りました。それはスパンコールやビーズ、リボン、ボタンなどなど、ワクワクドキドキの工作体験でした。



つげ女性セミナー

女性が自分自身を見つけ、自分らしく生きることに関与し、地域の仲間作りにより女性の力で地域活性化を図ることを目的とし開催されました。毎回さまざまなもの作りにチャレンジして個人の感性を磨きました。



つげ史跡めぐりハイキング

天候に恵まれた心地よい秋の一日、いこしえに思いを馳せながら、のんびり緑豊かな都祁の郷を歩きました。立ち寄った史跡では、講師の奈良市文化財課 植松さんの詳しいご説明により、更に理解や関心を深め、都祁の魅力を再発見できました。



つげ文化講座

都祁の里、奈良市上深川町の八柱神社の宮座に伝えられる、古式ゆかしき民俗芸能「題目立」の事前学習会を現地八柱神社で開催しました。



布目ダム水源地域の活動

ダム周辺地域

布目ダム周辺地域開発協会

布目ダムクリーンキャンペーン（6月・11月年2回実施）

・ボランティアによるダム湖周辺の除草、ゴミ拾いを実施。地域の方、山添村役場の方など70名以上の参加。



不法投棄のパトロール年間約50回、土日のゴミ拾い年間約40回



・継続的な活動のおかげで布目ダム周辺は、キレイに保たれています。
・ゴミの不法投棄についても他のダムとくらべ大変少ない状況です。

布目川を美しくする会

水生昆虫観察会(布目ダム見学会)



・川に入って実際に水生昆虫を捕まえて、河川の環境について学習します。子供たちは楽しみながら、河川保護について学んでくれます。
・流域の人たちと布目川の清掃活動も行っています。
・毎年1月には、川に関する書き初め大会も開催しています。

布目湖オオムラサキ蝶の自生を目指す会



・布目湖オオムラサキ蝶の自生を目指す会は、絶滅を心配されるオオムラサキ蝶を布目湖畔に自生させることを目的に活動をされています。
・オオムラサキのエサとなる榎木の植樹を行い、数年前から放蝶会を行っています。
・放蝶されるオオムラサキ蝶は、卵の時から大切に育てられ、蝶になった段階で放蝶されています。

修羅古流会



・修羅古流会の皆さんは、布目ダムで釣りをされる方の集まりです。

・定期的にダム湖周辺釣り場の清掃活動をしていただいています。

・ダム湖を利用していただき、ダム湖を大切にいただいております。

布目川漁業協同組合

ほんなら釣り祭り 布目湖つり大会

・30回を超える歴史ある釣り大会、毎年多くの人たちが訪れます。
・釣りをとおして、ダム湖の保全、地域の活性化を行っています



・布目川漁業協同組合では、定期的にダム周辺の清掃活動も行っています。

(2) 漁業組合の活動

布目ダムは、関西地方ではヘラブナ釣りやワカサギ釣りで名の知れたダムであり、年間を通じて、多くの釣り客が訪れている。布目川漁業組合では、ここ数年は、ワカサギの放卵に力をいれ、ワカサギの数を増やす取り組みを行っている。



写真 ワカサギ釣りの様子

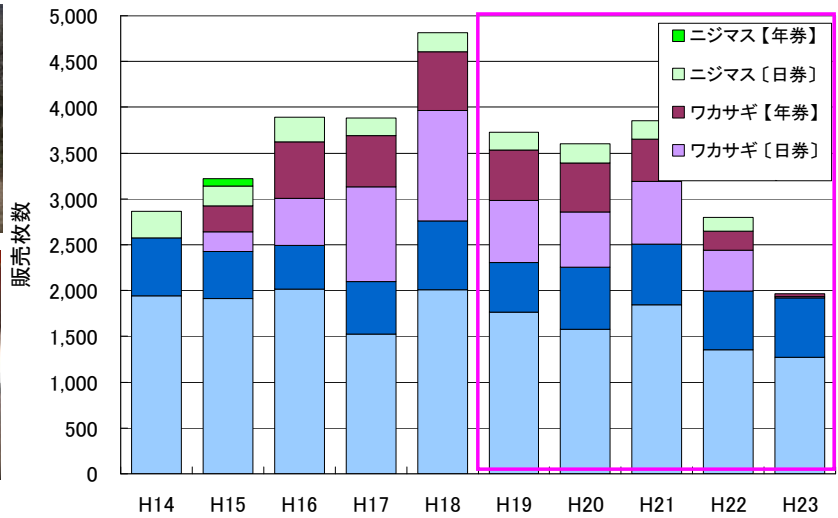


図 7.5.3-1 布目川漁協遊漁券販売枚数

(3) 課外授業の場の提供

布目ダムでは、例年 1,500 人を超える小学 4 年生が課外授業（水の勉強）のため見学に訪れている。平成 4 年から平成 23 年度までに延べ約 42,300 人の見学者が来訪しており、布目ダムの役割や水の大切さ等について学んでいる。また、一般者を対象とした布目ダム見学会を実施するとともに、地元で開催される祭りやマラソン大会等のイベント時にも展示スペースを設け、布目ダムの役割や水の大切さについて広報に努めている



写真 布目ダム見学(課外授業)の様子

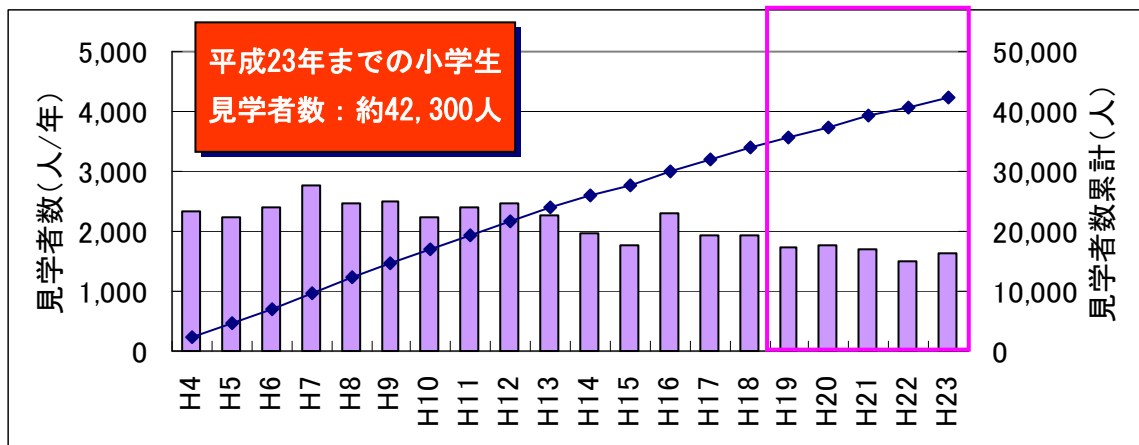


図 7.5.3-2 布目ダムの小学生見学者 (累計)

表 7.5.3-1 (1/3) 見学会等実施状況 (平成19年~20年)

年度	開催日	団体名・参加人数等	活動内容	備考
平成19年度	5月08日	大安寺小学校	61	社会見学
	5月08日	椿井小学校	38	社会見学
	5月10日	佐保川小学校	118	社会見学
	5月11日	都跡小学校	128	社会見学
	5月15日	明治小学校	71	社会見学
	5月17日	大宮小学校	88	社会見学
	5月17日	左京小学校	99	社会見学
	5月18日	朱雀小学校	62	社会見学
	5月22日	鼓阪北小学校	53	社会見学
	5月22日	大安寺西小学校	124	社会見学
	5月24日	奈良市立三城保育園	53	ダム見学
	5月25日	右京小学校	52	社会見学
	5月25日	西大寺北小学校	88	社会見学
	5月28日	神功小学校	91	社会見学
	5月29日	平城小学校	117	社会見学
	5月29日	伏見小学校	125	社会見学
	6月01日	富雄北小学校	172	社会見学
	6月05日	三碓小学校	171	社会見学
	6月08日	柳生小学校	9	社会見学
	7月12日	まほろばリーダーカレッジ	9	社会見学
	7月15日	布目川を美しくする会水生昆虫観察会	40	社会見学
	7月28日	施設見学会	164	施設見学
	8月31日	森田登志勝(北野山町)	5	施設見学
	8月31日	水源地ネット幹事会	22	施設見学
	9月26日	奈良人権擁護委員協議会	29	研修
	10月17日	奈良市立春日保育園	45	ダム見学
	10月23日	三ヶ谷高齢者学級	32	社会見学
	10月23日	伊賀市青山支所長外2名	2	川上ダム・施設見学
	10月30日	奈良市下水道局・JICA-バン格拉デシュ・ブラジル外	25	施設見学
	11月03日	淀川水系ダム水源地ネット交流ツアー	100	施設見学
	11月09日	奈良市立六郷小学校	57	社会見学
	11月20日	韓国中部発電公社(コスモジャパン)	30	施設見学
	1月22日	木津川を美しくする会 木津川市支部	48	見学会
2月04日	奈良市立布目保育園	37	施設見学	
2月04日	奈良市水道局	5	研修	
平成20年度	4月24日	奈良市会議員	12	施設見学
	5月07日	椿井小学校	43	社会見学
	5月08日	大安寺小学校	59	社会見学
	5月09日	大宮小学校	91	社会見学
	5月13日	佐保川小学校	99	社会見学
	5月14日	伏見南小学校	94	社会見学
	5月15日	朱雀小学校	76	社会見学
	5月16日	左京小学校	84	社会見学
	5月16日	都跡小学校	111	社会見学
	5月20日	明治小学校	64	社会見学
	5月20日	大安寺西小学校	104	社会見学
	5月23日	右京小学校	53	社会見学
	5月23日	平城小学校	122	社会見学
	5月26日	帯解小学校	48	社会見学
	5月27日	佐保小学校	53	社会見学
	5月28日	奈良女子大附属小学校	41	社会見学
	5月28日	放流連絡会幹事会	15	施設見学
	5月30日	三碓小学校	160	社会見学
	5月30日	伏見小学校	109	社会見学
	6月02日	神功小学校	89	社会見学
	6月03日	富雄北小学校	153	社会見学
	6月06日	鼓阪北小学校	59	社会見学
	6月20日	平城西小学校	38	社会見学
	7月02日	柳生小学校	3	社会見学
	7月12日	布目川を美しくする会水生昆虫観察会	40	施設見学
	8月02日	施設見学会	45	施設見学会
	8月25日	南山城村自然の家・小学生	5	施設見学
	10月09日	JICA・大阪市下水道局	12	都市排水研修
	10月10日	ギャラジー水文化の会	18	施設見学
	11月10日	奈良市立柳生・布目保育園	38	ダム見学
	1月22日	京西中学校	3	職場体験学習
	2月02日	奈良市水道局	5	技術管理者資格取得実務研修
	2月10日	奈良市水道局	10	曝気設備工事見学

表 7.5.3-1 (2/3) 見学会等実施状況(平成21年~22年)

年度	開催日	団体名・参加人数等	活動内容	備考
平成21年度	5月08日	樺井小学校	47	社会見学
	5月08日	大宮小学校	87	社会見学
	5月14日	佐保川小学校	101	社会見学
	5月14日	平城西小学校	66	社会見学
	5月15日	鶴舞小学校	53	社会見学
	5月15日	大安寺西小学校	96	社会見学
	5月19日	明治小学校	85	社会見学
	5月19日	伏見南小学校	66	社会見学
	5月20日	鼓阪北小学校	41	社会見学
	5月21日	平城小学校	132	社会見学
	5月21日	左京小学校	58	社会見学
	5月22日	右京小学校	56	社会見学
	5月25日	大安寺小学校	67	社会見学
	5月26日	朱雀小学校	54	社会見学
	5月27日	放流連絡会幹事会	24	施設見学
	5月28日	都跡小学校	123	社会見学
	5月28日	三碓小学校	162	社会見学
	5月29日	伏見小学校	128	社会見学
	6月02日	富雄北小学校	148	社会見学
	6月05日	済美南小学校	45	社会見学
	6月05日	神功小学校	68	社会見学
	7月01日	㈱丸島アグシステム	10	ダム研修
	7月05日	ホーイスカウト生駒5団カブ隊	18	学習
	7月18日	布目川を美しくする会水生昆虫観察会	21	社会見学
	8月01日	森・湖施設見学会	78	施設見学会
	8月03日	寺田氏(奈良市内)	3	ダム見学
	8月04日	水の週間ダム見学会	80	施設見学会
	9月18日	JICA・大阪市下水道局	12	都市排水研修
	9月19日	月ヶ瀬公民館	18	施設見学
	10月09日	吐山小学校	27	社会見学
	12月03日	奈良市ボランティア協議会	35	施設見学会
	2月02日	奈良市水道局	5	技術管理者資格取得実務研修
	平成22年度	4月13日	奈良市水道局	6
4月22日		奈良市議会議員	10	民主党見学
5月06日		富雄北小学校	129	社会見学
5月07日		樺井小学校	40	社会見学
5月07日		大宮小学校	101	社会見学
5月14日		大安寺西小学校	103	社会見学
5月16日		日本サイクリング協会	70	施設見学会
5月21日		都跡小学校	120	社会見学
5月21日		朱雀小学校	67	社会見学
5月26日		平城小学校	128	社会見学
5月27日		済美南小学校	48	社会見学
5月27日		帯解小学校	63	社会見学
5月28日		大安寺小学校	65	社会見学
6月01日		伏見小学校	106	社会見学
6月02日		放流連絡会幹事会	19	施設見学
6月03日		明治小学校	67	社会見学
6月03日		鼓阪北小学校	52	社会見学
6月04日		神功小学校	96	社会見学
6月10日		三碓小学校	169	社会見学
6月17日		佐保川小学校	98	社会見学
7月09日		丸島ユニオン	17	研修
7月25日		ダム見学会(遷都1300祭)	250	ダム見学会
8月03日		山城共同資料いずみの会	10	施設見学会
8月10日		奈良市水道局(市会議員)	3	施設見学
9月06日		柳生小学校	6	社会見学
9月13日		木津川上流工事事務所	3	実習生施設見学
9月17日		JICA・大阪市下水道技術協会	15	下水道維持管理都市排水研修
9月28日		㈱丸島アグシステム	13	新入社員研修
10月13日		認定こども園都祁保育園	110	施設見学
10月15日		六郷小学校	40	社会見学
11月02日		布目・柳生・月ヶ瀬保育園	79	施設見学
2月02日		奈良市水道局	6	技術管理者資格取得実務研修

表 7.5.3-1 (3/3) 見学会等実施状況 (平成23年)

年度	開催日	団体名・参加人数等	活動内容	備考
平成23年度	5月12日	富雄北小学校	127 社会見学	
	5月12日	左京小学校	82 社会見学	
	5月13日	平城小学校	115 社会見学	
	5月15日	布目湖畔サイクルフェスタ	32 ダム見学	
	5月16日	都跡小学校	96 社会見学	
	5月16日	三船松之様他	12 ダム見学	
	5月17日	椿井小学校	51 社会見学	
	5月17日	伏見南小学校	68 社会見学	
	5月20日	大安寺小学校	65 社会見学	
	5月24日	済美南小学校	54 社会見学	
	5月25日	放流連絡会幹事会	8 施設見学	
	5月26日	大安寺西小学校	91 社会見学	
	5月26日	大宮小学校	94 社会見学	
	5月26日	奈良女子大附属小学校	83 社会見学	
	5月27日	朱雀小学校	66 社会見学	
	5月31日	伏見小学校	128 社会見学	
	5月31日	明治小学校	78 社会見学	
	6月2日	富雄南小学校	97 社会見学	
	6月3日	鼓阪北小学校	32 社会見学	
	6月10日	三碓小学校	168 社会見学	
	6月16日	佐保川小学校	68 社会見学	
	6月17日	平城西小学校	65 社会見学	
	7月11日	柳生小学校	12 社会見学	
	7月24日	ダム見学会(管理開始20周年)	239 ダム見学	
	7月30日	JAF奈良支部見学会	78 ダム見学	
	8月3日	水の週間ダム見学会	36 施設見学会	
	8月10日	河野氏	6 ダム見学	
	8月29日	山添村教育委員会教員研修	10 施設見学	
	9月22日	丸島ユニオン	10 社員研修	
	10月12日	布目白砂川水質協議会	20 施設見学	
	10月25日	木津川を美しくする会精華町支部	14 施設見学会	
11月24日	奈良市水道局	16 地下埋設建設協議会 施設見学		
11月30日	丸島アアシテム	3 施設見学会		
2月2日	奈良市水道局	6 技術管理者資格取得実務研修		

【出典:布目ダム年次報告書】

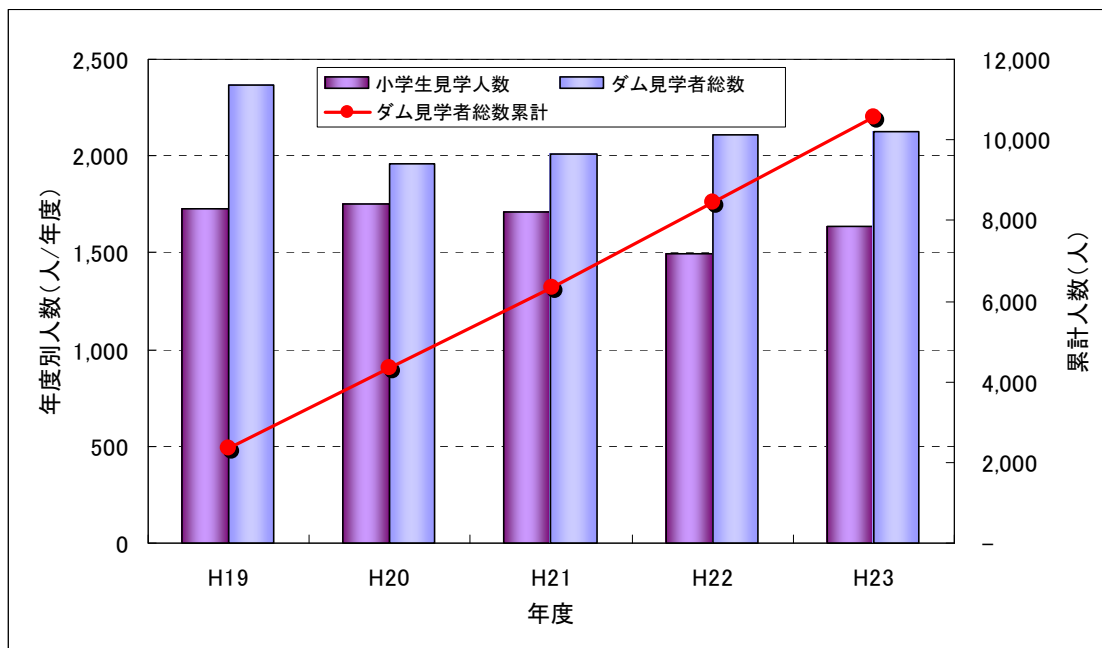


図 7.5.3-3 布目ダム見学者数の推移 (平成19年～23年)

(4) 地域連携によるイベント

- ・布目湖サイクルフェスタ

【毎年5月開催】



- ・ほんなら釣り祭り（布目湖釣大会）

【毎年9月開催】



- ・山添ふれあいまつり

【毎年11月開催】



- ・やまぞえ布目ダムマラソン大会

【毎年12月開催】



7.5.4 地域とダム管理者との関わりの評価

以上のように布目ダムでは、ダムが有する利用ポテンシャル（開放的な空間や湖面など）や地域の水源としての役割等を活かし、水源地の活性化を図るため、「布目ダム水源地ビジョン」を策定している。

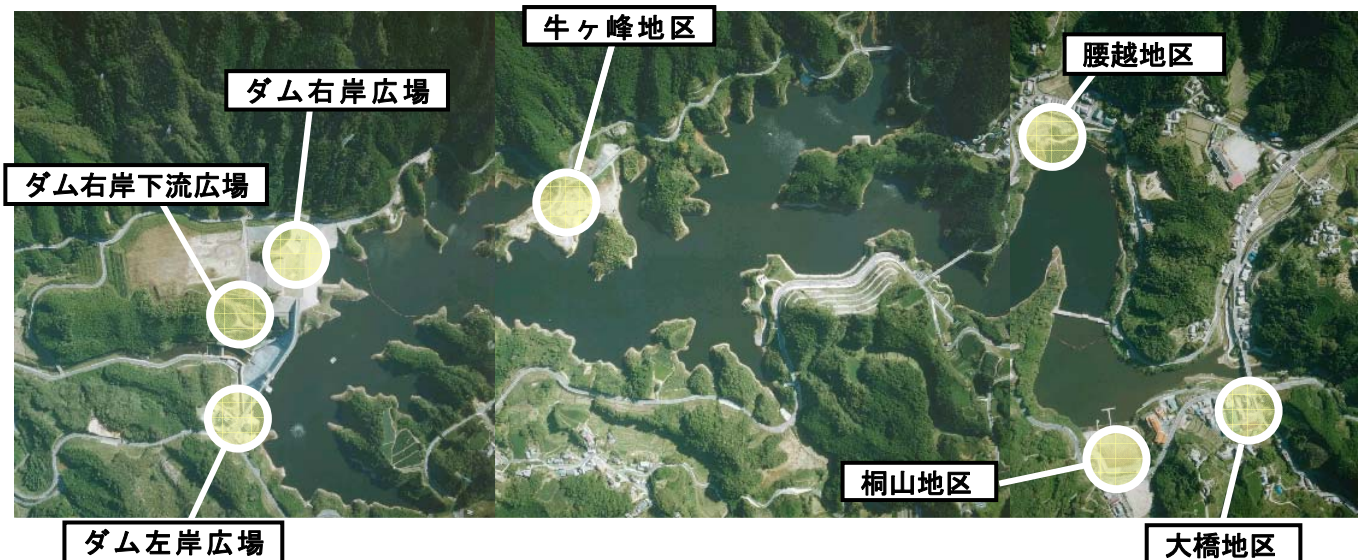
ダムを管理する水資源機構では、関係機関や地域と連携を図りながら、水源地ビジョンに基づき、実行連絡会やダム見学等を継続的に実施しており、地域の活性化に貢献している。

7.6 ダムの周辺状況

7.6.1 ダム周辺環境整備事業の状況

布目ダムが建設された大和高原北部地域は、神野山や月ヶ瀬梅林に代表されるように、高原地形の眺望、梅林、水と緑のオープンスペース等、自然的景観に依存した観光レクリエーション圏域を形成している。交通網は、幹線道路網が周辺にあり、奈良や大阪、京都、名古屋などの都市から、道路時間距離では40分～90分の位置にあり、立地条件的には大都市圏の日帰りレクリエーション圏内にあるというものの、入れ込み客数はそれほど多くはない。

布目ダムの周辺環境整備は、周辺観光レクリエーション地域と関連させた整備計画は、位置関係、距離等から考えて難しく、ダム周辺を周遊するパターンを基本として、ドライブ、サイクリング等による立ち寄りにも対応できる要素を取り入れた。



【出典：「布目技術解説書」、7章 貯水池の管理】

図 7.6.1-1 ダム周辺環境整備 位置図

表 7.6.1-1 ダム周辺環境整備内容

場所	面積	利用方法	環境整備の内容	管理主体
ダム左岸広場 (まほろば広場)	1,200m ²	ダムを訪れた人々への案内 及び休憩眺望スペース	ブロック舗装、駐車場、パーゴラ、ベンチ、 テーブル、水呑、くず入れ、灰皿、記念碑、 トイレ、照明灯、植栽、案内施設	機構
ダム右岸広場 (まほろば広場)	10,000m ²	ダムを訪れた人々への案内 及び休憩眺望スペース	ブロック舗装、駐車場、パーゴラ、ベンチ、 テーブル、水呑、くず入れ、灰皿、記念碑、 トイレ、照明灯、植栽、案内施設	機構
ダム右岸下流広場 (まほろば広場)	1,500m ²	ダムを訪れた人々のダムサイ ット展望、休憩眺望スペース	カラー舗装、駐車場、パーゴラ、東屋、 ベンチ、テーブル、水呑、くず入れ、灰皿、 植栽、案内施設	機構
牛ヶ峰地区 (コスモス公園)	16,000m ²	貯水池展望のできる休憩、散 策スペース	カラー舗装、駐車場、パーゴラ、東屋、 ベンチ、テーブル、水呑、くず入れ、灰皿、 植栽、トイレ	山添村
腰越地区 (ふれあい広場)	4,100m ²	地元住民の憩いの場	ゲートボール場、駐車場、パーゴラ、 シェルター、ベンチ、テーブル、水呑、 くず入れ、灰皿、植栽	山添村
大橋地区 (ほのぼの公園)	4,300m ²	上流端河川合流地点にある 交通の要所、川辺におりての 休憩、親水スペース	親水護岸、駐車場、ベンチ、植栽	山添村
桐山地区 (さざなみ広場)	7,400m ²	副ダムによって形成された 湖面に沿った親水スペース、 地元山添村等により構成さ れる第三セクターがキャン プ等の収益事業を実施、上盤 の農村広場との複合利用	親水護岸、駐車場、パーゴラ、ベンチ、 テーブル、水呑、くず入れ、灰皿、植栽、 トイレ	山添村 第三 セクター

【出典：「布目技術解説書」、7章 貯水池の管理】



ダム左岸広場



ダム右岸下流広場



牛ヶ峰地区



腰越地区



大橋地区



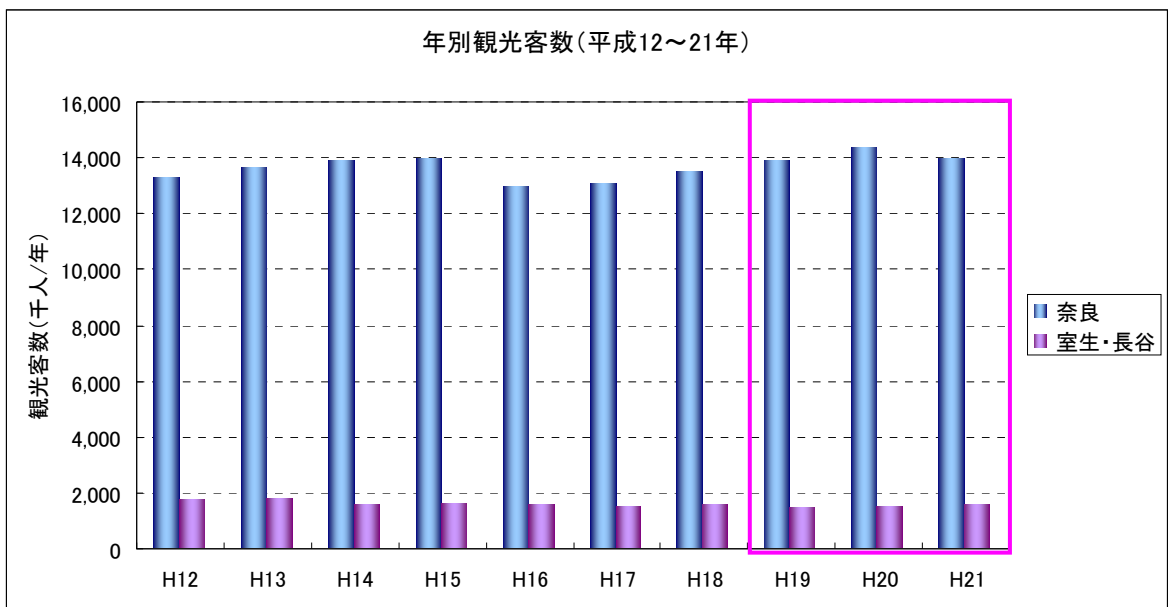
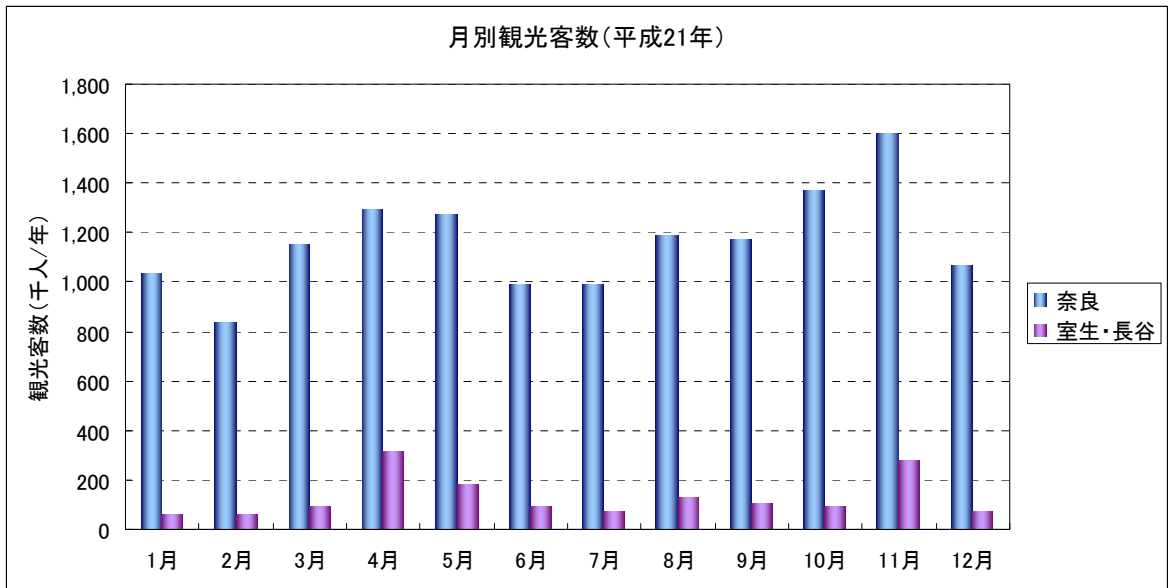
桐山地区

ダム周辺環境整備の状況

7.6.2 ダム周辺施設の利用状況

布目ダム周辺における観光客入り込み数の推移を図 7.6.2-1 に示す。平成 12～21 年の 10 年間でみると、奈良地域（奈良市）では、年間 1,300～1,400 万人程度、山添村を含む室生・長谷地域では、140～170 万人程度の観光客が訪れている。また、平成 21 年度の月別利用では、奈良地域、室生・長谷地域とも、4月と11月が多かった。

○奈良地域 : 奈良市
○室生・長谷地域 : 山添村・宇陀市・桜井市

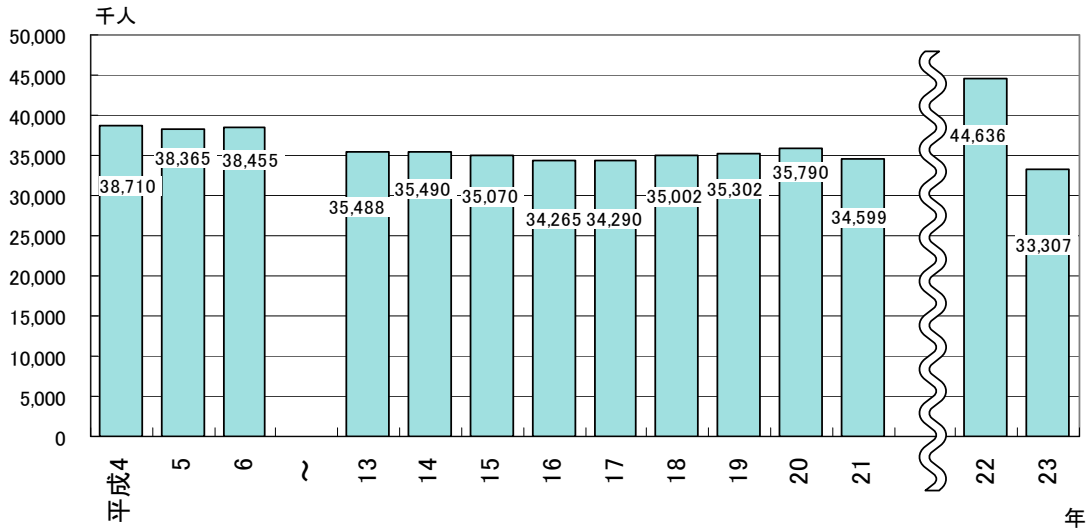


【出典：「奈良県観光客動態調査報告書 平成 21 年」（奈良県地域振興部文化観光局観光振興課）】

※奈良県観光脚動態調査報告書は、現時点では平成 23 年版も公表されているが、平成 22 年 4 月調査より観光庁が策定した「観光入込客統計に関する共通基準」に準拠し調査対象、推計方法が変更されているため、平成 21 年までのデータを示している。

図 7.6.2-1 布目ダム周辺地域の観光客数

奈良県全体の観光客数を図 7.6.2-2 と図 7.6.2-3 に示す。



- ・平成23年の観光客数は33,307千人と推計。
- ・平成22年に開催された平城遷都1300年祭の反動や、3月の東日本大震災、9月の紀伊半島大水害の影響も受け、大きく減少。
(11,329千人減。対前年比25%減)

※平成22年4月から観光庁が策定した「観光入込客統計に関する共通基準」に準拠し推計している。
 ※前年度との比較において異なる調査地点があるため遡及推計を行い比較した。

図 7.6.2-2 奈良県への観光客数 (年別)

【出典：「奈良県観光客動態調査報告書 平成23年」(奈良県地域振興部文化観光局観光振興課)】

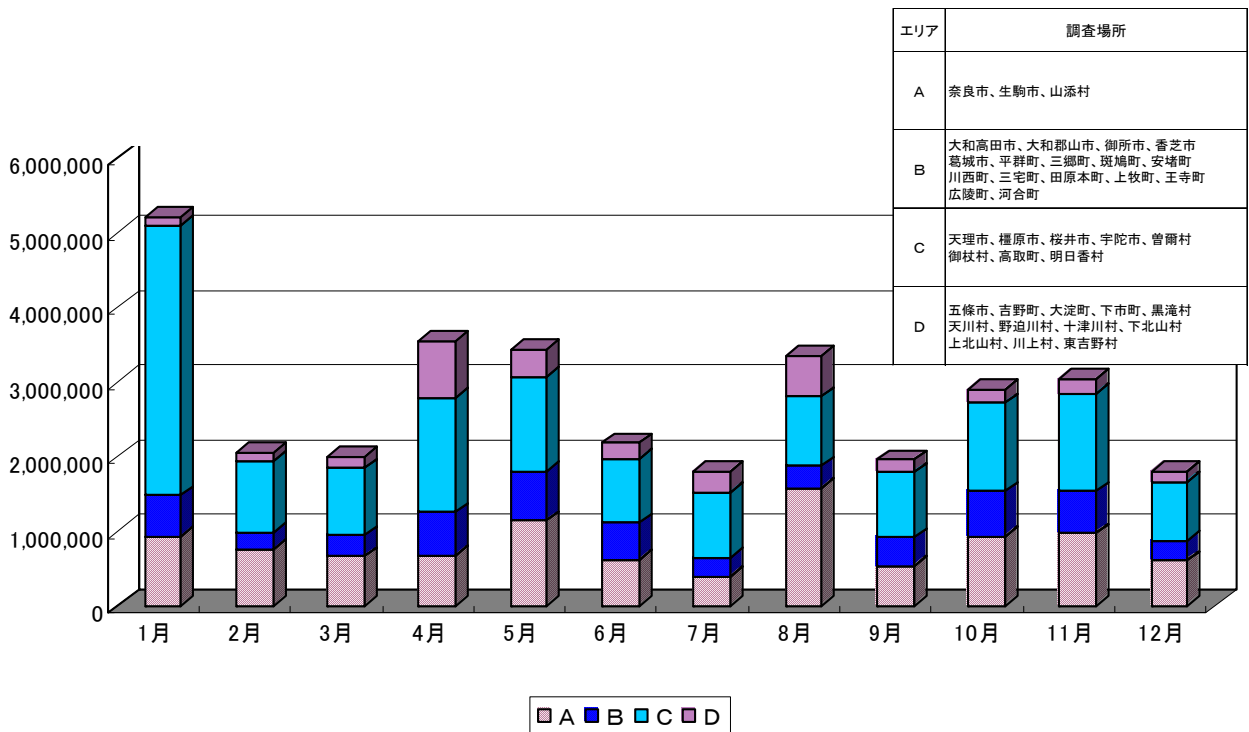


図 7.6.2-3 奈良県エリア別・月別観光客数 (平成23年)

【出典：「奈良県観光客動態調査報告書 平成23年」(奈良県地域振興部文化観光局観光振興課)】

7.6.3 ダム及び周辺のイベント等の開催状況

布目ダム周辺では、ダムやダム湖、湖周道路等を活用し、布目湖サイクルフェスタ、布目湖釣り大会、山添ふれあいまつり、マラソン大会等の様々なイベントが開催され、貯水池にはヘラブナやワカサギを求め、年間を通じて多数の釣り客が訪れる。また、ダムは小学校等の社会見学の場として数多く利用されている。

以下に平成19～23年度の開催概要を整理する。

表 7.6.3-1 (1/5) 布目ダム周辺のイベント等の開催状況 (平成19年度)

開催期間	行事等名	開催場所	主催者	参加人数	行事内容・質問・意見等
通年	社会見学等布目ダム施設見学	布目ダム	水資源機構木津川ダム総合管理所布目ダム管理所	2370名	社会見学等として布目ダムの施設見学を実施している。
5月20日 8時30分 ～ 12時00分	布目湖畔サイクルフェスタ	布目ダム周辺	(財)日本サイクリング協会	183名	家族や友達が連れ添い、一人でも多くの方が、環境にやさしく心身の健康に役立つ自転車にのり、大和高原の豊かな自然と、風物を体験していただくことを目的に実施されている。
5月21日 9時00分 ～ 13時30分	第11回ツアー・オブジャパン	布目ダム周辺	自転車月間推進協議会、朝日新聞社、日刊スポーツ新聞社、テレビ朝日	選手96名	アジア最高峰の自転車レース、ツアーオブジャパンが、布目ダム貯水池周辺を周回して実施されている。
6月24日 13時30分 ～ 16時30分	布目ダム周辺クリーンキャンペーン	布目ダム周辺	布目ダム周辺地域開発協会	110名	年2回ダム湖周辺に滞在している住民や、山添村の人々により地域の環境保全、維持の増進として水辺、周辺道路、公園等のゴミ拾や除草を行いアウトドアを楽しむ人々への配慮や、自然豊かな里を守ることを目的に実施している。
7月29日 10時00分 ～ 15時30分	布目ダム水源地見学ツアー「森と湖に親しむ旬間」	布目ダム管理所	水資源機構木津川ダム総合管理所布目ダム管理所	173名	「森湖」の原点に帰り更なる上下流の交流を繋ぎ、ダムの役割と重要性の認識と身近なダムとして親しんでいただくため、多くの人々の参加による分かりやすいダムの役割や施設案内と催しを目的に見学会を実施している。
9月3日 19時30分 ～ 21時00分	明王院供養	北野山町公民館	奈良市北野山町自治会	約50名	明王院の供養に参列し、地元自治会との交流を深めている。
9月2日 6時00分 ～ 14時30分	ほんなら釣り祭(布目湖釣り大会)	布目湖周辺	布目釣り大会実行委員会、日本釣り振興、布目川漁業協同組合、W・F・W Japan	約400名	釣り可能区域における湖面及び湖面広場を利用した、魚の手づかみ、湖面での部門別(コイ、フナ、ニジマス)釣り大会、バザーなどを開催し、子供から大人を対象として釣り大会を通じ地域の活性化とダム湖の自然を利用した交流が開催されている。
11月3日 7時00分 ～ 16時30分	山添むらまつり2007「なんでも市」	ふるさとセンター	山添村まつり実行委員会	約5000名	毎年山添村では、11月に「なんでも市」として多目的広場を利用し一般や公共機関が寄り添いふるさとの味や、各種農作物、展示品など多数手作りを中心として出展されている。また、地元や近隣の市町村等多くの方が訪れ山添村の「ふるさと」を知って頂き、地域の活性化を目的に実施されている。布目ダムの役割を多くの方に紹介できる良い機会と捕らえ、パネル展示等を実施している。
11月18日 13時30分 ～ 16時10分	布目ダム周辺クリーンキャンペーン	布目ダム周辺	布目ダム周辺地域開発協会	約100名	年2回ダム湖周辺に滞在している住民や、山添村の人々により地域の環境保全、維持の増進として水辺、周辺道路、公園等のゴミ拾や除草を行いアウトドアを楽しむ人々への配慮や、自然豊かな里を守ることを目的に実施している。
12月9日 8時30分 ～ 15時00分	布目ダムマラソン大会	布目湖畔道路	やまぞえ布目ダムマラソン大会実行委員会	850名	平成3年ダム完成に伴い、山添村の自然に溶け込んだダム湖畔の美しさを知っていただくとともに、山添村の活性化を図ることで毎年実施されているマラソン大会で参加者は村内、県民以外に広く近畿及び各都道府県から集まり小学生以上を対象として年々増加傾向を示している。また、ランナー同士の交流や村民とのふれ合いを目的として開催されている。

表 7.6.3-1 (2/5) 布目ダム周辺のイベント等の開催状況 (平成20年度)

開催期間	行事等名	開催場所	主催者	参加人数	行事内容・質問・意見等
通年	社会見学等布目ダム施設見学	布目ダム	水資源機構木津川ダム総合管理所布目ダム管理所	1956名	社会見学等として布目ダムの施設見学を実施している。
4月15日 9時00分 ┆ 15時00分	第28回アジア自転車協議選手権大会 4/15～大会は4/17の3日間開催	布目ダム周辺	アジア自転車競技連合、(財)日本自転車競技連盟	約190名	北京オリンピックの自転車競技の予選を兼ねたアジア選手権大会として実施されている。
5月18日 8時30分 ┆ 12時00分	布目湖畔サイクルフェスタ	布目ダム周辺	(財)日本サイクリング協会	約200名	家族や友達が連れ添い、一人でも多くの方が、環境にやさしく心身の健康に役立つ自転車にのり、大和高原の豊かな自然と、風物を体験していただくことを目的に実施されている。
5月19日 9時00分 ┆ 13時30分	第12回ツアー・オブジャパン	布目ダム周辺	自転車月間推進協議会、朝日新聞社、日刊スポーツ新聞社、テレビ朝日	選手96名	アジア最高峰の自転車レース、ツアーオブジャパンが、布目ダム貯水池周辺を周回して実施されている。
6月29日 13時30分 ┆ 16時30分	布目ダム周辺クリーンキャンペーン	布目ダム周辺	布目ダム周辺地域開発協会	約110名	年2回ダム湖周辺に滞在している住民や、山添村の人々により地域の環境保全、維持の増進として水辺、周辺道路、公園等のゴミ拾や除草を行いアウトドアを楽しむ人々への配慮や、自然豊かな里を守ることを目的に実施している。
8月2日 10時00分 ┆ 15時30分	布目ダム水源地見学ツアー「森と湖に親しむ旬間」	布目ダム管理所	水資源機構木津川ダム総合管理所布目ダム管理所	45名	「森湖」の原点に帰り更なる上下流の交流を繋ぎ、ダムの役割と重要性の認識と身近なダムとして親しんでいただくため、多くの人々の参加による分かりやすいダムの役割や施設案内と催しを目的に見学会を実施している。
9月3日 19時30分 ┆ 21時00分	明王院供養	北野山町公民館	奈良市北野山町自治会	約50名	明王院の供養に参列し、地元自治会との交流を深めている。
9月7日 6時00分 ┆ 14時30分	ほんなら釣り祭(布目湖釣大会)	布目湖周辺	布目釣り大会実行委員会、日本釣り振興、布目川漁業協同組合、W・F・W Japan	約400名	釣り可能区域における湖面及び湖面広場を利用した、魚の手づかみ、湖面での部門別(コイ、フナ、ニジマス)釣り大会、バザーなどを開催し、子供から大人を対象として釣り大会を通じ地域の活性化とダム湖の自然を利用した交流が開催されている。
11月3日 7時00分 ┆ 16時30分	山添むらまつり2008「なんでも市」	ふるさとセンター	山添村まつり実行委員会	約8000名	毎年山添村では、11月に「なんでも市」として多目的広場を利用し一般や公共機関が寄り添いふるさとの味や、各種農作物、展示品など多数手作りを中心として出展されている。また、地元や近隣の市町村等多くの方が訪れ山添村の「ふるさと」を知って頂き、地域の活性化を目的に実施されている。布目ダムの役割を多くの方に紹介できる良い機会と捕らえ、パネル展示等を実施している。
11月16日 13時30分 ┆ 16時10分	布目ダム周辺クリーンキャンペーン	布目ダム周辺	布目ダム周辺地域開発協会	約80名	年2回ダム湖周辺に滞在している住民や、山添村の人々により地域の環境保全、維持の増進として水辺、周辺道路、公園等のゴミ拾や除草を行いアウトドアを楽しむ人々への配慮や、自然豊かな里を守ることを目的に実施している。
12月14日 8時30分 ┆ 15時00分	布目ダムマラソン大会	布目湖畔道路	やまぞえ布目ダムマラソン大会実行委員会	約800名	平成3年ダム完成に伴い、山添村の自然に溶け込んだダム湖畔の美しさを知っていただくとともに、山添村の活性化を図ることで毎年実施されているマラソン大会で参加者は村内、県民以外に広く近畿及び各都道府県から集まり小学生以上を対象として年々増加傾向を示している。また、ランナー同士の交流や村民とのふれ合いを目的として開催されている。
1月22日 14時00分 ┆ 15時30分	職場体験学習	堤体周辺	奈良県	3名	職場体験学習のため奈良市立京西中学校生徒3名が七条建設の工事現場を見学し、布目ダムでは施設見学を実施している。

表 7.6.3-1 (3/5) 布目ダム周辺のイベント等の開催状況 (平成21年度)

開催期間	行事等名	開催場所	主催者	参加人数	行事内容・質問・意見等
通年	社会見学等布目ダム施設見学	布目ダム	水資源機構木津川ダム総合管理所布目ダム管理所	2014名	社会見学等として布目ダムの施設見学を実施している。
5月17日 8時30分 ～ 12時00分	布目湖畔サイクルフェスタ	布目ダム周辺	(財)日本サイクリング協会	約215名	家族や友達が連れ添い、一人でも多くの方が、環境にやさしく心身の健康に役立つ自転車にのり、大和高原の豊かな自然と、風物を体験していただくことを目的に実施されている。
5月18日 9時00分 ～ 13時30分	第13回ツアー・オブジャパン	布目ダム周辺	自転車月間推進協議会、朝日新聞社、日刊スポーツ新聞社、テレビ朝日	選手96名	アジア最高峰の自転車レース、ツアーオブジャパンが、布目ダム貯水池周辺を周回して実施されている。
6月28日 13時30分 ～ 16時30分	布目ダム周辺クリーンキャンペーン	布目ダム周辺	布目ダム周辺地域開発協会	100名	年2回ダム湖周辺に滞在している住民や、山添村の人々により地域の環境保全、維持の増進として水辺、周辺道路、公園等のゴミ拾や除草を行いアウトドアを楽しむ人々への配慮や、自然豊かな里を守ることを目的に実施している。
8月1日 10時00分 ～ 15時30分	布目ダム水源地見学ツアー「森と湖に親しむ旬間」	布目ダム管理所	水資源機構木津川ダム総合管理所布目ダム管理所	78名	「森湖」の原点に帰り更なる上下流の交流を繋ぎ、ダムの役割と重要性の認識と身近なダムとして親しんでいただくため、多くの人々の参加による分かりやすいダムの役割や施設案内と催しを目的に見学会を実施している。
8月4日 13時30分 ～ 15時00分	平成21年度ダム見学会(水の週間行事)	布目ダム管理所	奈良県	80名	奈良県主催水の週間行事の一環としてダム見学を実施している。
9月3日 19時30分 ～ 21時00分	明王院供養	北野山町公民館	奈良市北野山町自治会	約50名	明王院の供養に参列し、地元自治会との交流を深めている。
9月6日 6時00分 ～ 14時30分	ほんなら釣り祭(布目湖釣り大会)	布目湖周辺	布目釣り大会実行委員会、日本釣り振興、布目川漁業協同組合、W・F・W Japan	約400名	釣り可能区域における湖面及び湖面広場を利用した、魚の手づかみ、湖面での部門別(コイ、フナ、ニジマス)釣り大会、パザーなどを開催し、子供から大人を対象として釣り大会を通じ地域の活性化とダム湖の自然を利用した交流が開催されている。
11月3日 7時00分 ～ 16時30分	山添むらまつり2009「なんでも市」	ふるさとセンター	山添村まつり実行委員会	約3000名	毎年山添村では、11月に「なんでも市」として多目的広場を利用し一般や公共機関が寄り添いふるさとの味や、各種農作物、展示品など多数手作りを中心として出展されている。また、地元や近隣の市町村等多くの方が訪れ山添村の「ふるさと」を知って頂き、地域の活性化を目的に実施されている。布目ダムの役割を多くの方に紹介できる良い機会と捕らえ、パネル展示等を実施している。
11月8日 13時30分 ～ 16時10分	布目ダム周辺クリーンキャンペーン	布目ダム周辺	布目ダム周辺地域開発協会	約80名	年2回ダム湖周辺に滞在している住民や、山添村の人々により地域の環境保全、維持の増進として水辺、周辺道路、公園等のゴミ拾や除草を行いアウトドアを楽しむ人々への配慮や、自然豊かな里を守ることを目的に実施している。
12月13日 8時30分 ～ 15時00分	布目ダムマラソン大会	布目ダム湖周辺	やまぞえ布目ダムマラソン大会実行委員会	約800名	平成3年ダム完成に伴い、山添村の自然に溶け込んだダム湖畔の美しさを知っていただくとともに、山添村の活性化を図ることで毎年実施されているマラソン大会で参加者は村内、県民以外に広く近畿及び各都道府県から集まり小学生以上を対象としている。また、ランナー同士の交流や村民とのふれ合いを目的として開催されている。

表 7.6.3-1 (4/5) 布目ダム周辺のイベント等の開催状況 (平成22年度)

開催期間	行事等名	開催場所	主催者	参加人数	行事内容・質問・意見等
通年	社会見学等布目ダム施設見学	布目ダム	水資源機構木津川ダム総合管理所布目ダム管理所	2109名	社会見学等として布目ダムの施設見学を実施している。
5月16日 8時30分 ～ 12時00分	布目湖畔サイクルフェスタ	布目ダム周辺	(財)日本サイクリング協会	204名	家族や友達が連れ添い、一人でも多くの方が、環境にやさしく心身の健康に役立つ自転車にのり、大和高原の豊かな自然と、風物を体験していただくことを目的に実施されている。
5月17日 9時00分 ～ 13時30分	第14回ツアー・オブジャパン	布目ダム周辺	自転車月間推進協議会、朝日新聞社、日刊スポーツ新聞社、テレビ朝日	選手93名	アジア最高峰の自転車レース、ツアーオブジャパンが、布目ダム貯水池周辺を周回して実施されている。
6月19日 13時30分 ～ 16時00分	布目ダム周辺クリーンキャンペーン	布目ダム周辺	布目ダム周辺地域開発協会	77名	年2回ダム湖周辺に滞在している住民や、山添村の人々により地域の環境保全、維持の増進として水辺、周辺道路、公園等のゴミ拾や除草を行いアウトドアを楽しむ人々への配慮や、自然豊かな里を守ることを目的に実施している。
7月25日 9時00分 ～ 15時00分	布目ダム見学会 平城遷都1300年祭記念事業	布目ダム管理所	水資源機構木津川ダム総合管理所布目ダム管理所	250名	平城遷都1300年祭行事の一環として、上下流の交流を繋ぎ、ダムの役割と重要性の認識と身近なダムとして親しんでいただくため、多くの人々の参加による分かりやすいダムの役割や施設案内と催しを目的に見学会を実施している。
9月3日 19時30分 ～ 21時00分	明王院供養	北野山町公民館	奈良市北野山町自治会	30名	明王院の供養に参列し、地元自治会との交流を深めている。
9月6日 6時00分 ～ 14時30分	全国釣り大会奈良大会「布目湖」 平城遷都1300年祭記念事業	布目湖周辺	布目釣り大会実行委員会、日本釣り振興、布目川漁業協同組合、W・F・W Japan	500名	釣り可能区域における湖面及び湖面広場を利用した、魚の手づかみ、湖面での部門別(コイ、フナ、ニジマス)釣り大会、バザーなどを開催し、子供から大人を対象として釣り大会を通じ地域の活性化とダム湖の自然を利用した交流が開催されている。
11月3日 8時30分 ～ 16時00分	山添むらまつり2010	ふるさとセンター	山添村まつり実行委員会	5500名	毎年山添村では、11月に「なんでも市」として多目的広場を利用し一般や公共機関が寄り添いふるさとの味や、各種農作物、展示品など多数手作りを中心として出展されている。また、地元や近隣の市町村等多くの方が訪れ山添村の「ふるさと」を知って頂き、地域の活性化を目的に実施されている。布目ダムの役割を多くの方に紹介できる良い機会と捕らえ、パネル展示等を実施している。
11月7日 13時30分 ～ 16時00分	布目ダム周辺クリーンキャンペーン	布目ダム周辺	布目ダム周辺地域開発協会	65名	年2回ダム湖周辺に滞在している住民や、山添村の人々により地域の環境保全、維持の増進として水辺、周辺道路、公園等のゴミ拾や除草を行いアウトドアを楽しむ人々への配慮や、自然豊かな里を守ることを目的に実施している。前回の反省点を踏まえ事前作業計画書を作成し実施している。
12月12日 8時30分 ～ 15時00分	布目ダムマラソン大会 第20回記念大会	布目ダム湖周辺	やまぞえ布目ダムマラソン大会実行委員会	1000名	平成3年ダム完成に伴い、山添村の自然に溶け込んだダム湖畔の美しさを知って頂くとともに、山添村の活性化を図ることで毎年実施されているマラソン大会で参加者は村内、県民以外に広く近畿及び各都道府県から集まり小学生以上を対象としている。また、ランナー同士の交流や村民とのふれ合いを目的として開催されている。H22年は、第20回記念開催の年であった。

表 7.6.3-1 (5/5) 布目ダム周辺のイベント等の開催状況 (平成23年度)

開催期間	行事等名	開催場所	主催者	参加人数	行事内容・質問・意見等
通年	社会見学等布目ダム施設見学	布目ダム	水資源機構木津川ダム総合管理所布目ダム管理所	2130名	社会見学等として布目ダムの施設見学を実施している。
5月15日 8時30分 12時00分	第20回布目湖畔サイクルフェスタ	布目ダム周辺	(財)日本サイクリング協会	222名	家族や友達が連れ添い、一人でも多くの方が、環境にやさしく心身の健康に役立つ自転車にのり、大和高原の豊かな自然と、風物を体験していただくことを目的に実施されている。走行コースの中には、奈良の東大寺・南大門～布目湖畔(湖畔12回周)の約14.5kmの本格的なコースもありました。又近隣の土津ダム～布目ダムまでの約15kmのコースなどもありました。ダム見学会も同時に開催し、布目ダムについて理解を深めていただきました。
5月16日	ツアー・オブジャパン	東日本大震災の為に中止	—	—	—
6月19日 13時30分 16時00分	布目ダム周辺クリーンキャンペーン	布目ダム周辺	布目ダム周辺地域開発協会	73名	年2回ダム湖周辺に滞在している住民や、山添村の人々により地域の環境保全、維持の増進として水辺、周辺道路、公園等のゴミ拾や除草を行いアウトドアを楽しむ人々への配慮や、自然豊かな里を守ることを目的に実施している。
7月24日 10時00分 15時00分	布目ダム見学会 管理開始20周年記念行事	布目ダム管理所 ダム右岸	水資源機構木津川ダム総合管理所布目ダム管理所	239名	管理開始20周年にあたり、上下流の交流を繋ぎ、ダムの役割と重要性の認識と身近なダムとして親しんでいただくため、多くの人々の参加による分かりやすいダムの役割や施設案内と催しを目的に見学会を実施している。
7月30日 10時00分 13時00分	いま・自然を考える 布目ダム学習会	布目ダム周辺	日本自動車連盟奈良支部	78名	自然や人との共生はいかなるものかを考える事の出来る機会とし、布目ダム、ダム水源林の役割や環境保全についての学習とダム見学を実施している。
8月3日 13時45分 15時00分	水の週間ダム見学会	布目ダム管理所	奈良県	36名	「水の週間」(8月1日～7日)の行事として、奈良県民の方々を対象にダム見学会を奈良県が開催。普段は入ることのできないダム内部の見学を実施している。
8月19日 8時45分 17時15分	職場体験学習	布目ダム管理所 布目ダム貯水池	奈良市	2名	職場体験学習のため奈良市立柳生中学生徒2名が布目ダム管理所及びダム湖貯水池で施設点検や水質調査等の職場体験を実施している。
9月3日 19時30分 21時00分	明王院供養	北野山町公民館	奈良市北野山町自治会	約30名	明王院の供養に参列し、地元自治会との交流を深めている。
11月4日	ほんなら釣り祭(布目湖釣り大会)	台風の為に中止	布目釣り大会実行委員会、日本釣り振興、布目川漁業協同組合、W・F・W Japan	—	—
11月3日 7時30分 16時00分	山添むらまつり2011	山添ふるさとセンター	山添村まつり実行委員会	6000名弱	毎年山添村では、11月に「なんでも市」として多目的広場を利用し一般や公共機関が寄り添いふるさとの味や、各種農作物、展示品など多数手作りを中心として出展されています。また、地元や近隣の市町村等多くの方が訪れ山添村の「ふるさと」を知って頂き、地域の活性を目的に実施されている。布目ダムの役割を多くの方に紹介できる良い機会と捕らえ、パネル展示、パンフレット配布、DVD放映を実施している。
11月6日 13時30分 15時30分	布目ダム周辺クリーンキャンペーン	布目ダム周辺	布目ダム周辺地域開発協会	84名	年2回ダム湖周辺に滞在している住民や、山添村の人々により地域の環境保全、維持の増進として水辺、周辺道路、公園等のゴミ拾や除草を行いアウトドアを楽しむ人々への配慮や、自然豊かな里を守ることを目的に実施している。
12月4日 9時00分 14時00分	やまぞえ布目ダムマラソン大会	布目ダム湖周辺	やまぞえ布目ダムマラソン大会実行委員会	781名	平成3年ダム完成に伴い、山添村の自然に溶け込んだダム湖畔の美しさを知っていただくとともに、山添村の活性化を図ることで毎年実施されているマラソン大会で参加者は村内、県民以外に広く近畿及び各都道府県から集まり小学生以上を対象としている。また、ランナー同士の交流や村民とのふれ合いを目的として開催されている。

(1) 布目湖サイクルフェスタ

布目湖完成を記念してスタートした、奈良県サイクリング協会主催のサイクリング大会。平成4年から始まり、平成23年で20回目を迎えた。家族が参加できるものとしては、県下最大のサイクリングイベントで、布目ダム貯水池周辺を周回コースとして実施されている。また、平成22年度よりダム見学会も同時に開催している。



(2) ツアー・オブ・ジャパン (平成23年は、東日本大震災の影響等で中止)

アジア最高峰の自転車レースで、世界各国からチームが集まり、6つのステージで争われる。平成8年にUCI(国際自転車競技連合)公認大会となり、布目ダム貯水池周辺をコースに含む「奈良ステージ」は第4回(平成11年)より登場した。平成22年で大会全14回のうち、奈良ステージでは11回開催されている。



(3) ほんなら釣り祭(布目湖釣り大会)

湖面及び湖面広場を利用し、魚の手づかみ、湖面での部門別(コイ、フナ、ニジマス)釣り大会、魚のつかみどり、バザーなど、ほんなら釣り祭りが実施されている。子供から大人を対象とし、釣り大会を通じて地域の活性化に取り組んでおり、平成22年に第31回大会が開催された。



(4) 山添ふれあいまつり

山添の「ふるさと」を知る事で、地域活性化を図ることを目的に、住民や公共機関による「山添ふれあいまつり」が毎年11月に開催されている。まつりでは「なんでも市」が開かれ、ふるさとの味や地元農作物など各種、催しも実施されている。



(5) やまぞえ布目ダムマラソン大会

平成3年ダム完成に伴い、自然に溶け込んだダム湖畔の美しさを知ってもらうとともに、ランナー同士の交流や村民とのふれ合いを通じて山添村の活性化を図ることを目的に毎年実施されており、平成23年で21回目を迎えた。参加者は村内、県内のみならず大阪、京都などからも参加者が集まっている。



(6) ダム見学会

「森と湖に親しむ旬間」の期間に合わせ実施されているダム見学会。普段は、入れないダムの中を見学してもらい、ダムの役割や機能を理解してもらうことを目的として開催されている。平成22年からは、地域の方々と協働し、地域の活性化、連携強化を図っている。



(7) 社会見学等の課外授業(小学生への施設案内の様子)

奈良市内の小学校を中心に社会見学の課外授業でダムの見学、ダムの役割、機能について説明を行っている。奈良市水道局と布目ダムを1日で見学し、自分たちの使う水がどこから、どのように来ているかを学んでいる。

見学風景や集合写真のデータをCDに収録、集合写真をカレンダーにして、好評を得ている。



(8) ダムカードの配布

イベント参加者や希望者等にダムカードを配布し、ダムへの関心や興味をもってもらい取り組みも行っている。

布目ダムでは、ダムカード収集のために跡連れた方に承諾を得て、ホームページへの掲載を行っている。

皆様のご来訪、職員一同、心よりお待ちしております。

皆様のご来訪、職員一同、心よりお待ちしております。

皆様のご来訪、職員一同、心よりお待ちしております。

皆様のご来訪、職員一同、心よりお待ちしております。

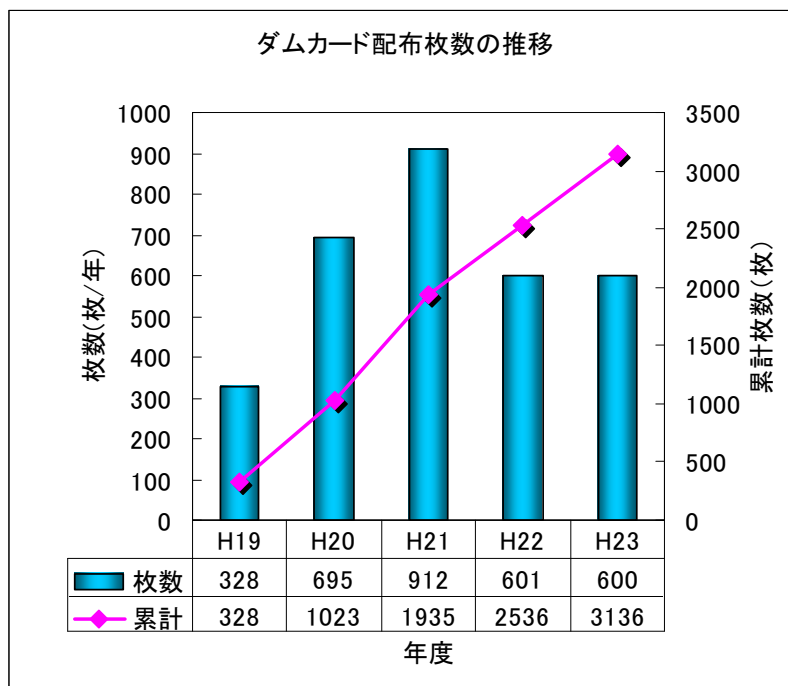


図 7.6.3-1 ダムカード配布枚数の推移

7.6.4 ダム周辺利用の評価

布目ダムでは、ダム周辺施設やダム湖を活かしたイベントやダム施設の見学会等が数多く行われている。また、周辺各地区における地域活性化の取り組みや、地域団体による環境美化、環境教育清掃等も盛んに行われている。

ダム管理者である水資源機構は、地域活性化や啓発等に資する、ダムや周辺施設を利用したイベントや活動等の開催支援を積極的、継続的に実施していく役割を担っていると考えられる。また、地域活動の支援や連携を行い、地域とのパートナーシップ構築を図っていくことも重要である。

7.7 河川水辺の国勢調査（ダム湖利用実態調査）結果

7.7.1 ダム湖利用実態の調査

平成 21 年度に実施した河川水辺の国勢調査(ダム湖利用実態調査)の調査結果は図 7.7.1-1 に示すとおりである。

河川水辺の国勢調査（年間 7 日間のダム湖利用実態調査）から年間利用者数を推計すると、布目ダムには約 13 万人の来訪者があると考えられる。利用形態としては、「釣り」と「野外活動」が多く、「釣り」が 5 割以上を占めているのが、本ダムの特徴である。

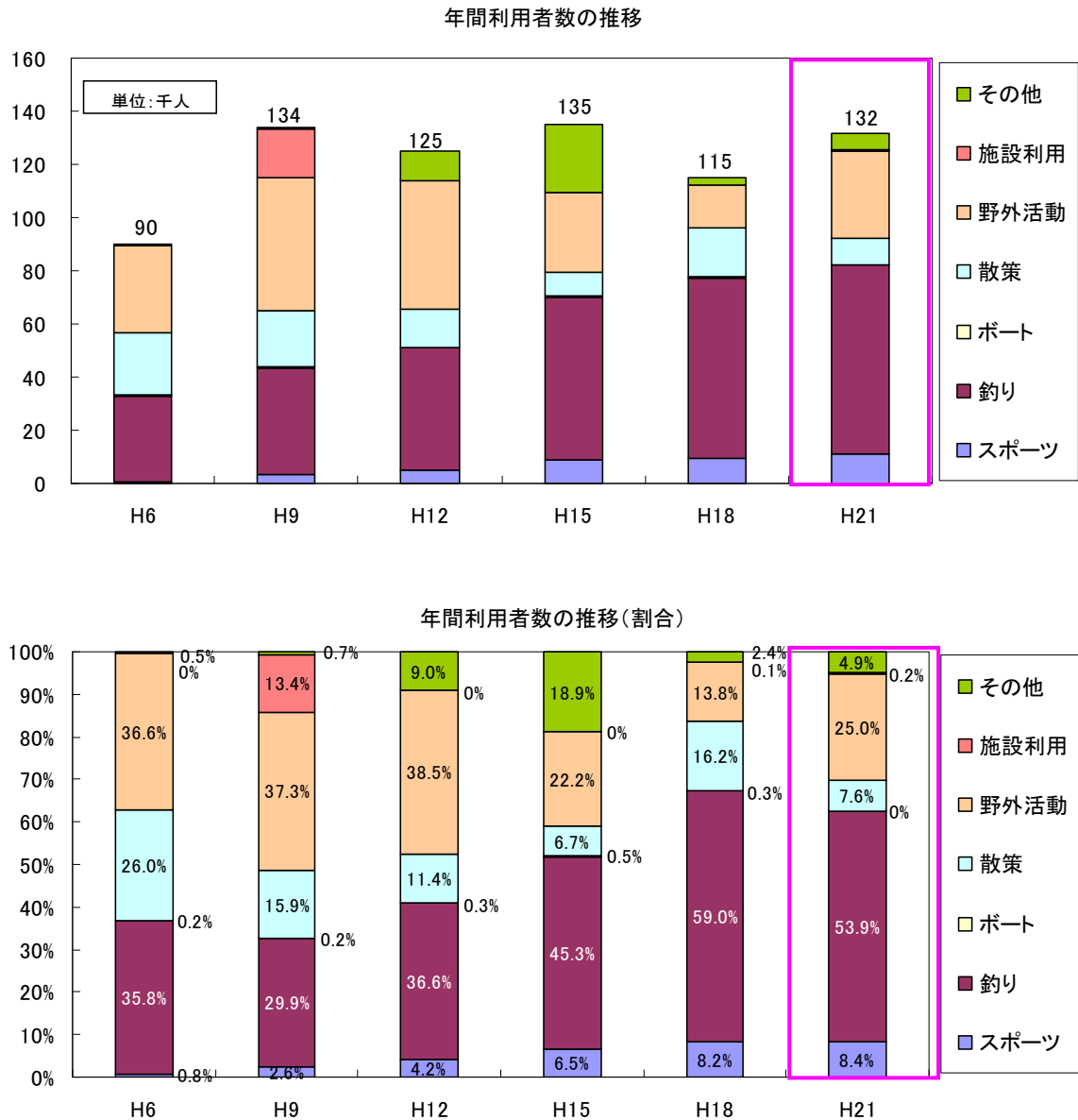


図 7.7.1-1 布目ダムの利用者の状況

【参考：ダム湖利用実態調査の調査方法及び年間利用者数の推計方法】

1. 調査項目・調査時期

表-(1) 調査項目、目的および作成する様式

調査項目	目的	調査実施日等
利用者カウント調査	年間利用者数の推計に用いる基礎データ（サンプル日における利用者数）の収集。 あらかじめ設定した「ブロック区分※1」毎に調査を行った。	表-(2)に示す調査実施日（合計7日間）において実施。
利用者アンケート調査	ダム湖の利用目的、感想等の把握および年間利用者数の推計にあたっての基礎データの収集。	
イベント調査	ダム湖における利用者数の影響要因である各種イベントの開催状況および参加人数の把握。	調査実施年の3月1日から翌年2月28日までの1年間における状況を聞き取り調査等により実施。
施設利用者数調査（H18, 21のみ実施）	ダム湖周辺にある施設での日別利用者数の把握	調査実施年の3月1日から翌年2月28日までの1年間において実施。

※1 ブロック区分：利用者カウント調査において利用者数の集計を行う地理的単位です。基本的には、調査対象区域内の利用環境を踏まえて、調査対象区域を複数のエリアに分割

表-(2) 調査実施日一覧

番号	季節区分	平日休日区分	各年の調査実施日等	備考
1	春季	休日	4月29日(祝日)	ただし、参加人数100人以上のイベント、悪天候、施設の休館日と重なったときは、適宜直近の日で設定
2			5月5日(祝日)	
3		平日	5月中旬の平日	
4	夏季	休日	7月最終日曜日	
5			平日	
6	秋季	休日	11月3日(祝日)	
7	冬季	休日	1月上旬の休日	

2. 調査方法

(1) 利用者カウント調査

- ・調査区域内の利用者数を現地で実測する方法である。
- ・利用者数は、設定したブロック毎に、時間帯別、性別、年齢別、利用区分別に人数をカウント。
- ・原則として、日の出から日没までの間に2時間毎で実施する。
- ・各調査時刻における観測値の合計を一日の利用者数とみなす。

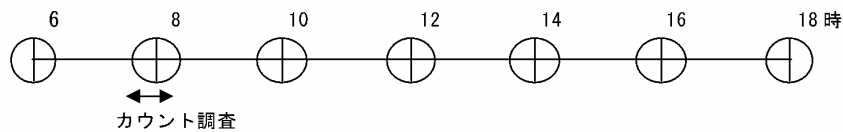


図-(1) 利用者カウント調査の実施間隔の考え方

(2) 利用者アンケート調査

本調査は、利用者に対して直接質問し、回答を得ることにより実施。調査実施日は、利用者カウント調査実施日(7日間)とする。必要なアンケート対象者数(最少サンプル数)は、各調査実施日において20人以上を目標とした。

【出典：平成21年度ダム湖利用実態調査業務 報告書】

(3) イベント調査

本調査は、ダム管理者や施設の運営主体等から、調査区域内において開催されたイベントについて、聞き取りを行うことにより調査を実施した。

表-(3) 対象とするイベントの考え方

対象とするイベント等	
期 間	当該年3月から翌年2月の1年間において開催されたイベント等とした。
時 間 帯	対象とする時間帯は特に制限しない。
規 模	参加人数が概ね100人以上となるイベント等とした。
種 類 等	対象とするイベント等の種類や実施・運営主体等は特に制限しない。

3. 年間利用者数の推計方法

各季節別実施した合計7回の調査(カウント)結果とイベント調査結果をもとに、ダム毎に1年間のダム湖利用者数の推計を行った。

年間の利用者数の推計に当たっては、季節、休日と平日の違いを考慮し、各季節の休日、土曜日、平日の利用者数(実測値を基本とする)を原単位とし、それに各季節の休日・土曜日・平日の日数を乗じた推計値にイベント調査結果を加えることにより、年間利用者数の推計を行った。

なお、平成9年度以前の調査については、イベント調査は行われていないため、上記のイベント人数の加算は行っていない。

【曜日係数】

H15まで：各季節の土曜日および秋季・冬季の平日については実測値がないため、平成4年度に行った補足調査結果より得られた全国平均の比率を乗じる(土曜日=0.37×休日、平日=0.18×休日)ことにより、原単位を求めた。

H18 : H15まで使用した曜日係数は平成4年に設定されたものであり、その間に休暇の取得等に関する社会的な考え方や制度が変化した可能性が考えられたため、H18に新しい曜日係数設定を目的とした追加調査を行った。結果、平成18年は、土曜係数：0.41、平日係数：0.22とされた。

※利用者推定例

表-(4) 平成21年度高山ダム年間利用者数の推定【平成18年度の係数を使用して試算】

季節	曜日区分	調査日別利用者数(実測値)	原単位			日数			季節別利用者数(推計値)	イベント参加人数(実測値)	年間利用者数(推計値)
			休日	平日	土曜(*1)	休日	平日	土曜			
春季	休日1	680	841(*2)	1,329	345	19	63	13	100,202	7,290	250,426
	休日2	1,002									
	平日	1,329									
夏季	休日	2,094	2,904	947	859	14	65	13	102,032		
	平日	947									
秋季	休日	583	583	128(*3)	239	19	59	13	21,752		
冬季	休日	539	539	119(*3)	221	17	60	13	19,151		

*1：休日×0.41

*2：春季休日1と春季休日2の平均値

*3：休日×0.22

【出典：平成21年度ダム湖利用実態調査業務 報告書】

7.7.2 布目ダム利用者の特性

ダム湖利用実態調査時に行った利用者アンケート調査結果から、布目ダム利用者の特性を整理した。アンケートの回答者数は、以下のとおりである。

平成18年度：109人 平成21年度：95人

(1) 利用者の属性

利用者層は、平成18年度、平成21年度ともに50歳代が最も多いが、その他の年代の利用者も適度にあり、幅広い年代に利用されている。

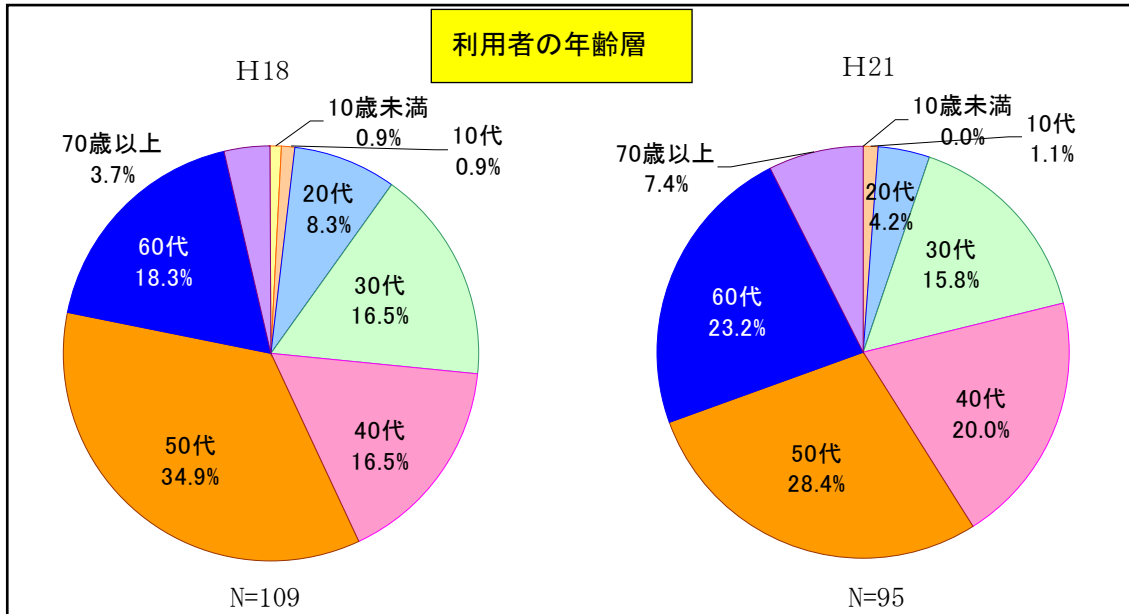


図 7.7.2-1 利用者の年齢層

(2) 利用者の居住地等

来訪者の居住地は奈良県が多く、奈良県、大阪府、京都府で約9割を占め近畿圏からの来訪者がほとんどである。

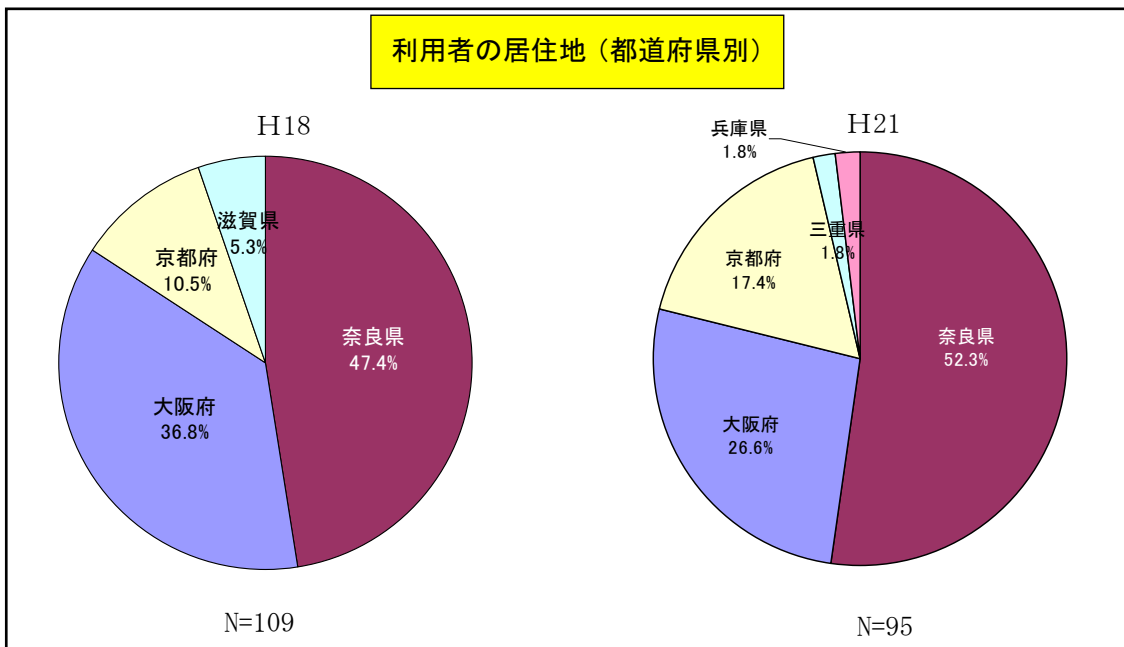


図 7.7.2-2 利用者の居住地（都道府県別）

(3) 来訪経験

布目ダムを訪れた利用者のうち、約9割をリピーターが占めている。

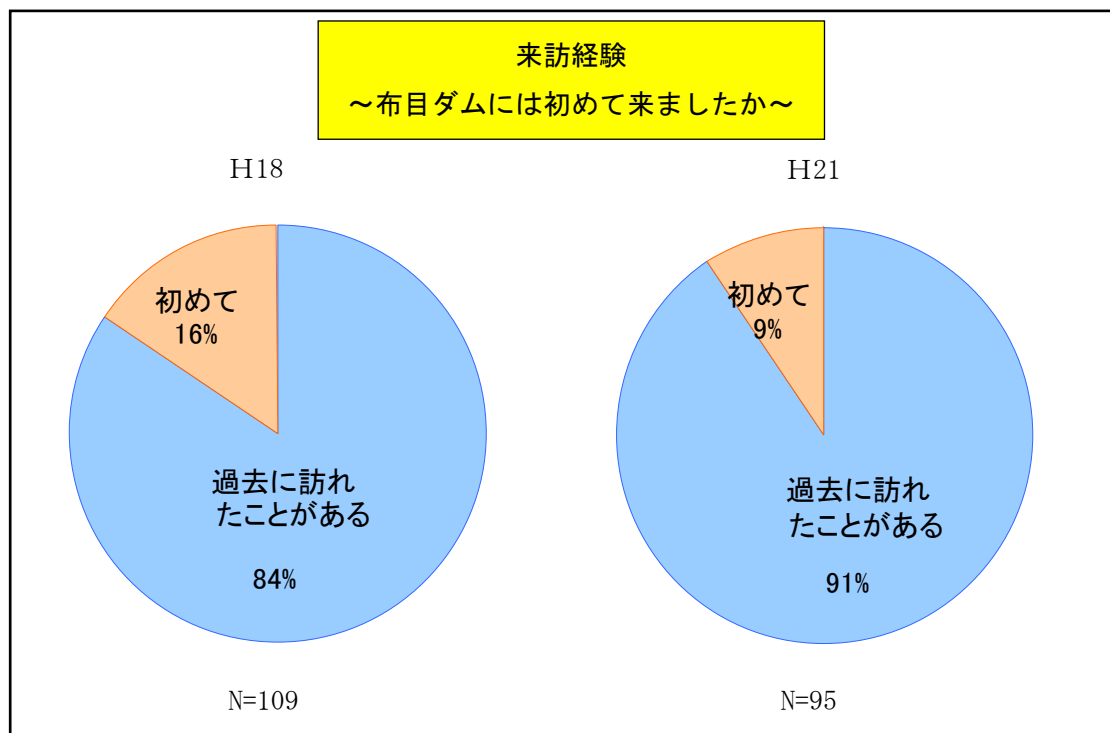


図 7.7.2-3 利用者の来訪経験

(4) 同伴者

平成 18 年度、平成 21 年度ともに友人等の同伴者と来る利用者が多い。友人等、家族、単独で全体の約 95%以上を占めている。

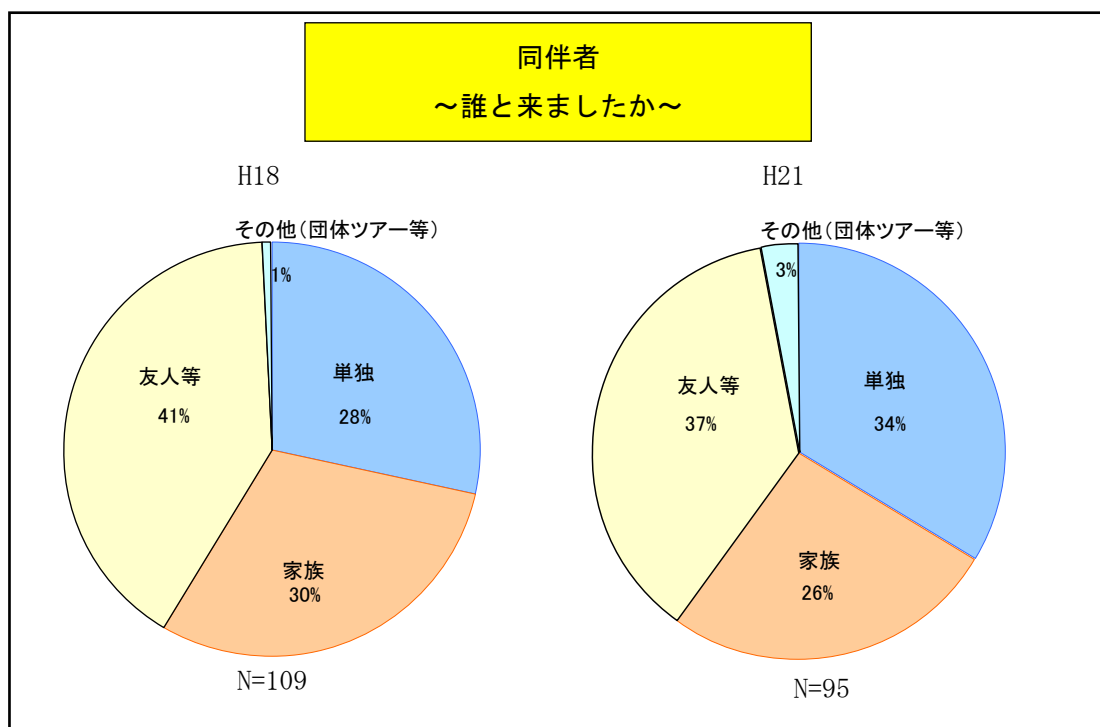


図 7.7.2-4 利用者の同伴者

(5) 来訪目的

布目ダムを訪れた主な目的は、「スポーツ」が最も多く、次いで「レジャー」となっている。

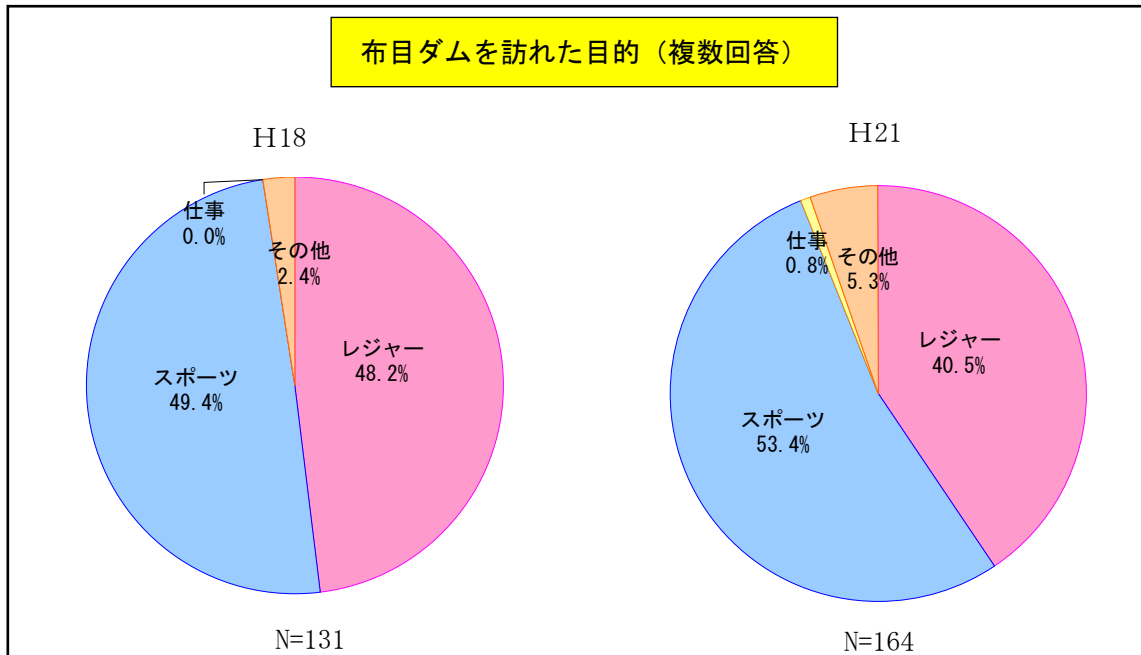


図 7.7.2-5 来訪目的

(6) 利用者の感想

布目ダムを利用した人の感想は、「満足している」、「まあ満足している」が全体の 97%を占めている。

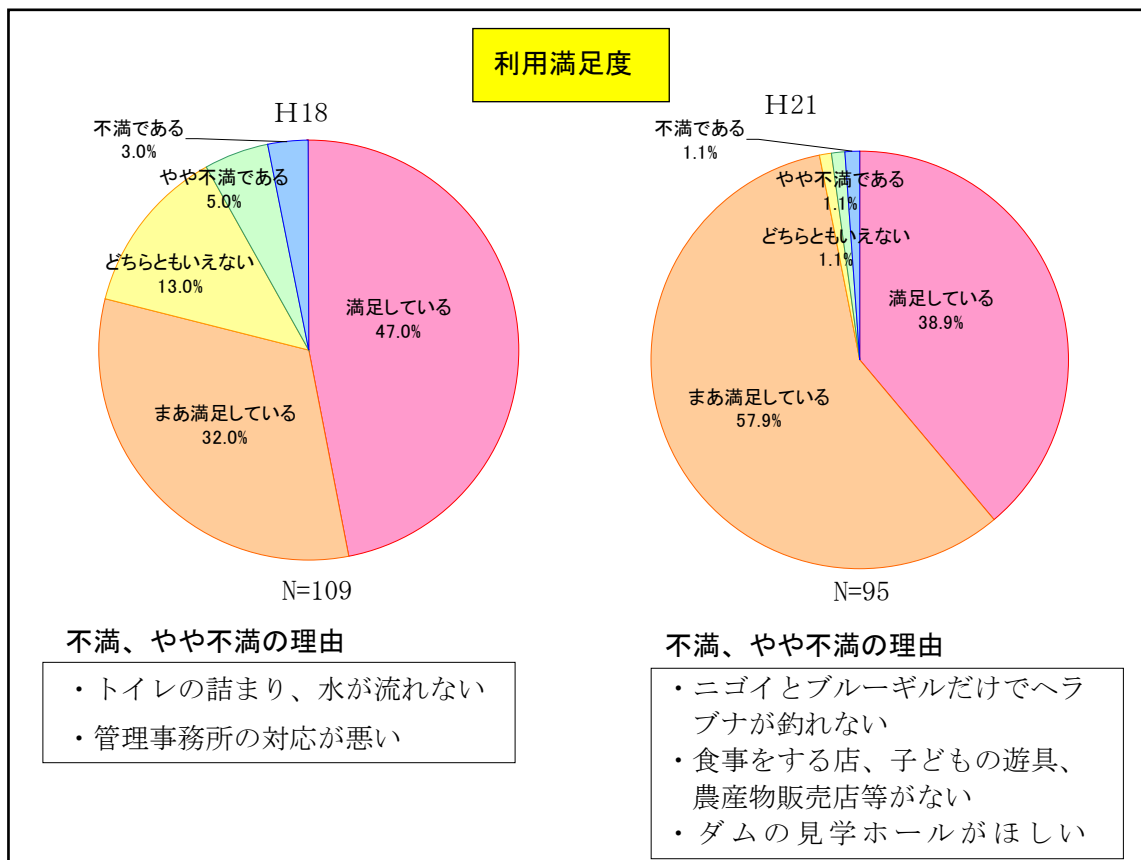


図 7.7.2-6 利用者の感想

7.7.3 ダム湖利用の評価

布目ダム貯水池周辺は、環境整備や道路整備が実施されており、また奈良や大阪などの市街地から近い立地ということもあり、幅広い年代で野外活動やスポーツを目的として来訪している。

また、近年では、テレビ及び雑誌による紹介等もあり、ボートによる釣り客が増加している(平成21年度ダム湖利用実態調査業務報告書より)。

ダム管理者である水資源機構は、ダム湖利用をさらに促進するため、利用施設の管理を適切に実施するとともに、パトロール等による利用者の安全確保、不法行為の抑制等に努める必要がある。

7.8 その他関連事項の整理

7.8.1 布目ダム水源地域の特性分析

布目ダム水源地域の現状から、地域の特徴や資源、ポテンシャルと、地域の活性化に向けた課題点を抽出・整理した。

(1) 地域の特徴や資源、ポテンシャル

①水源地域全体の特徴や資源、ポテンシャル

1) 流域が3市1村をまたいで形成されている。

布目ダムの水源地域は、奈良市、山添村、天理市、宇陀市の3市1村に及び、多くの自治体や住民が関わっているダムである。

2) 身近な自然とのふれあいの場となっている。

布目ダム流域は、奈良、名張等の市街地に近く、また大阪や名古屋の都市圏からも1時間半程度の距離にある。こうした立地にあつて、山地や農村風景が広がる緑豊かな環境を有しており、身近な自然とのふれあいの場として人々が訪れている。

3) 集客力のある観光資源を有している。

布目ダム水源地域には、「花香房」や「鍋倉溪」「神山自然公園」など歴史的、文化的な観光施設や自然環境、景観資源など様々な観光資源が立地している。

②布目ダム周辺地域の特徴や資源、ポテンシャル

1) 貯水池周辺に広場や公園が多数存在する。

ダム周辺環境整備事業により、公園や広場が整備され、奈良県内のほか大阪、京都等より多くの人々が水源地域及びダム周辺を訪れている。利用者の年齢層も幅広く、釣り、野外活動、散策、スポーツ等を目的に来訪している。特にダム湖を利用した、バス釣り、ヘラブナ釣りは年間を通じ多くの人々が訪れている。また、ヘラブナ釣り愛好家のグループにより定期的な清掃活動なども行われ、布目ダムの環境保全にも一役かっている。さらに、布目ダム周辺では、さまざまな団体による清掃活動や環境啓発等も実施されており、地域活性化の取組みが行われている。

2) 地域活動の場となっている。

水源地域ビジョンの活動として、釣り大会やスポーツ大会（自転車、マラソン）、祭り、施設見学等のイベントが開催されている。

平成22、23年の布目ダム見学会では、地域の方々と協働し、各自のイベントを持ち寄って開催した。結果、見学者は着実に増加し（平成19年173人、平成20年45人、平成21年78人、平成22年250人、平成23年239人）、地域連携の成果が現れている。

また、最近の自転車利用者の増加により、ツアー・オブ・ジャパン奈良ステージのコースとなっている布目ダム周辺の利用者が増加している。

3) ダム、ダム湖へのアクセス利便性が高い。

地域内の幹線道路である県道が貯水池の左岸側を通過していることから、ダム堤体や貯水池左岸の観光施設へのアクセスが容易である。

(2) 地域活性化に向けた課題点

①水源地域全体での課題点

1) 地域活性化の発展、維持に向けた取り組みが必要

現状で、布目ダムは様々なイベントや地域活動の場として活用されており、地域活性化に一役かっていると考えられる。今後もさらなる地域活性化に寄与するとともに、活性化の方策を一過性のものにする事なく、維持していくための仕組みづくりも求められるところとなる。

②布目ダム周辺地域での課題点

1) 貯水池及び公園や広場の有効活用

布目ダムでは、広大な貯水池、環境整備事業にて整備された公園、広場を有しており、それらのフィールドを活用した釣り場として多くの利用者が訪れている。今後もこうした優れた資源を有効に活用し、地域と共に活用を広げていく検討を継続的に実施する必要がある。

7.8.2 布目ダム水源地域の活性化に向けた取り組み方針

布目ダムにおける特性及び課題を踏まえ、今後の地域活性化のための取り組み方針を以下に示す。

(1) ダム水源地ビジョンに基づき、ダム管理者として今後も水源地域と連携し、以下のような活動を継続して推進していく。

- ・水源地マップを作成し、イベント等で配布
- ・水源地と下流との交流や地域活性化を目的とした水源地ツアーを開催
- ・出前講座、職場体験など地域への貢献
- ・地域防犯講習会の参加、ダム防災の広報

(2) 近年の国民の健康に対する関心の高まりに伴い、ランニングやサイクリング、スポーツ等を行うことができる場の需要が高くなっていることから、ダム湖周辺の利用を積極的にPRするなど、こうしたニーズに応えることにより、更なる地域活性化を図っていく。

7.8.3 【参考】今後の取り組み事例

(1) 啓発活動・地域への貢献

- ・地域連携をさらに強化し、ダム施設見学会（参考 H24:500 人参加）、地域の防災講習会やイベントへの参加、出前講座等を通じてダムの役割や浸水災害の危険性、水の大切さ等について啓発を行う。
- ・職場体験の受け入れ等、地域への貢献を行う。



これまでの取り組み事例

(2) ダム湖および周辺の利用促進

- ・ダム湖周辺道路や環境整備箇所等を活用し、サイクリングやマラソン、釣り等の利用の促進を図る。

※最近では、サイクルマップの作成など利用者への情報提供などを行っていることから、地域の活性化のきっかけのひとつとなることが期待される。現在は、奈良県の行っている「自転車利用促進計画」の一環として、「ならクルサポーター」（自転車利用者のサポートを行う団体やサービス）の認定をうけ、自転車の休憩所となっている。（休憩所、トイレ、空気入れの提供）



(3) 水源地域広報の取組

- ・水源地マップを作成し、イベント等で配布
- ・水源地と下流との交流や地域活性化を目的とした水源地ツアーを開催(H24 実施)



7.9 まとめ

布目ダムは、平成4年に管理を開始し、平成23年度末で管理開始20年を迎え、施設見学やイベント等を通じて、ダムの認知度や施設利用経験も高まっていると考えられ、前項までの内容や国勢調査結果を踏まえ以下のように評価する。

- サイクルフェスタ、山添ふれあいまつり、マラソン大会等のイベントなどの開催を地元主催の地域活動により継続的な地域活性化のための取組が実施されている。
- 布目ダム管理所による地元と密着した施設見学会の継続的な開催が実施されているとともに、小学生や一般者の環境学習の場としても確実に定着している。さらに、地元に根ざした啓発活動や広報発動など地域と連携した多くの取り組みが積極的に行われている。
- 地域住民や漁業組合の自主的な清掃活動により、貯水池周辺の環境への配慮が高まっている。
- 近畿圏を中心に多くの利用者が訪れ、釣り等のレジャー利用が確実に定着している。

以上より、ダム管理者として、水源地ビジョンにおける地域活性化のための方策を支援しており、今後もこれらの地域と連携した活動を継続かつ発展的に推進していく。

7.10 必要資料（参考資料）の収集・整理

水源地域動態に係わる評価のため、ダム周辺の社会情勢、利用、整備状況に関わる以下の資料を収集整理した。

表 7.10-1 水源地域動態に使用した資料リスト

該当箇所		文献・資料名	発行者	発行年月日
7.2 水源地域の概況				
7.2.1 水源地域の概要	(1) 水源地域の人口の推移	国勢調査	総務省統計局	平成22年
	(2) 土地利用と産業	布目ダム工事誌	布目ダム建設所	平成4年
		山添村 HP(地勢・概要)	山添村	-
		水源地域センサス	国土交通省河川局 河川環境課 流水管理室	第1~5回
7.2.2 ダムの立地特性	(2) ダム周辺の観光施設等	布目ダム HP	木津川ダム総合 管理所	
		山添村 HP	山添村	-
		笠置町商工会 HP	笠置町商工会	-
		道の駅針テラス HP	針テラス	-
7.3 ダム事業と地域社会情勢の変遷				
		布目ダム工事誌	布目ダム建設所	平成4年
		奈良市 HP	奈良市	-
		都祁村勢要覧	都祁村	平成5年
		山添村村勢要覧	山添村	平成8年
7.4 地域とダム管理者の関わり				
7.4.1 地域におけるダムの位置づけに関する整理		布目ダム水源地域ビジョン	布目ダム水源地域 ビジョン策定会議	
7.4.2 地域とダム管理者の関わり	(1) 布目ダム水源地域ビジョン	布目ダム水源地域ビジョン	布目ダム水源地域 ビジョン策定会議	
	(2) 策定した活性化施策の内容と実施状況	布目ダム技術解説書 1章 概説	木津川ダム総合 管理所	-
7.5 ダム周辺の状況				
7.5.1 ダム周辺環境整備事業の状況		布目ダム技術解説書 7章 貯水池の管理	木津川ダム総合 管理所	-
7.6 河川水辺の国勢調査結果				
		平成15年度 河川水辺の国勢調査結果 (ダム湖版)	国土交通省河川局 河川環境課	平成15年11月
		平成15年度 ダム湖利用実態 調査報告書	木津川ダム総合 管理所	平成16年3月
		平成18年度 ダム湖利用実態 調査結果	木津川ダム総合 管理所	平成19年3月
7.7 その他関連事項の整理				
	(1) 文化財等	平成17年度 木津川ダム流域 情報調査報告書	木津川ダム総合 管理所	平成18年3月